

POWER PROJECTOR LV-7250

使用説明書



1. 付属品や名称を —● 1
確認する
2. 設置と接続 —● 2
3. 映像を投写する —● 3
(基本操作)
4. 便利な機能 —● 4
5. オンスクリーン —● 5
メニュー
6. 本体のお手入れ／ —● 6
ランプの交換
7. 付録 —● 7

ご使用の前に、必ずこの使用説明書をお読みください。
特に「安全にお使いいただくために」の項は必ずお読みになり、正しくご使用ください。
またお読みになった後、この使用説明書をいつでも見られる場所に保管してください。

本製品は日本国内用に設計されております。
電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。

はじめに

このたびは、キャノン パワープロジェクター LV-7250（以降「LV-7250本体」を「本機」と呼びます）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品は、コンピューターのデータや、DVDの動画などをスクリーンに鮮明に投写するプロジェクターです。

本製品には「保証書」を付けています。保証書は、お買い上げの販売店から必ずお受け取りのうえ、使用説明書とともに、大切に保存してください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。

この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ・ IBM、PC/ATは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- ・ Macintosh、PowerBookは、米国Apple Computer, Inc.の商標です。
- ・ Microsoft、Windows、PowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ その他使用説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。



ご注意

- (1) 使用説明書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 使用説明書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 使用説明書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では(3)項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5) 乱丁、落丁はお取り替えいたします。




安全にお使いいただくために

絵表示について

この使用説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡やけがをするなど人身事故の原因となります。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例

	△記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。


警告
本機は日本国内専用です


国内では交流100ボルト以外使用禁止

- 日本国内で使用する場合は交流100ボルトで使用してください。

電源コードの取り扱いは大切に


- 電源コードは大切に取り扱いってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。

- ・ 付属しているもの以外の電源コードは使用しない
- ・ コードの上に重い物をのせない
- ・ コードをプロジェクターの下敷きしない
- ・ コードの上を敷物などで覆わない
- ・ コードを傷つけない、加工しない
- ・ コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- ・ コードを加熱しない

電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。

故障したときは電源プラグを抜く


電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なおいや音がする場合やプロジェクターを落したり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。販売店へ修理をご依頼ください。

水場や水にぬれるような所には置かない


水ぬれ禁止

- 次のような水にぬれるようなおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクターの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。

- ・ 雨天や降雪中、海岸や水辺で使用しない
- ・ 風呂やシャワー室で使用しない
- ・ プロジェクターの上に花びん、植木鉢を置かない
- ・ プロジェクターの上にコップ、化粧品、薬品を置かない

万一プロジェクターの内部に水などが入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

次のような所では使用しない


- 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- ・ ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
- ・ 暖房の近くや振動の多い所
- ・ 湿気やほこりの多い場所
- ・ 油煙や湯気の当たるような場所
- ・ 調理台や加湿器のそば

警告

内部に物を入れない



異物挿入禁止

- プロジェクターの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

キャビネットは絶対にあけない



分解禁止

- プロジェクターのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。また改造しないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご相談ください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



- 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。

プロジェクターのレンズをのぞかない



レンズをのぞかない

- プロジェクターのレンズをのぞかないでください。動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。特にお子様にはご注意ください。

ランプ交換は電源を切ってから



電源プラグをコンセントから抜く

- ランプの交換は、電源を切りしばらく待って、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、約60分おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となります。詳細は73～76ページをご参照ください。

天吊りの設置について



- 天吊りなどの特別な工事が必要な設置については販売店にご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。

⚠️ 注意

ぬれた手で電源プラグに触れない



ぬれた手は危険

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

通風孔をふさがない



- プロジェクターの通風孔をふさがないでください。またプロジェクターの下に紙や布などの柔らかい物を置かないでください。火災の原因となることがあります。プロジェクターを設置する場所は周囲から1m以上あけてください。

動作中にレンズキャップをしない



- 動作中にレンズにふたをしないでください。ふたの部分が高温になり変形することがあります。
- 動作中にレンズの前に物を置かないでください。物が高温になり、破損や火災の原因となることがあります。

移動するときは電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 移動する場合は、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外したことを確認のうえ、行ってください。

持ち運びのときレンズ部分に手をかけない



- プロジェクターを持ち運ぶとき、レンズ部分に手をかけないでください。フォーカスリングが回転し、プロジェクターが落下してけがをするおそれがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 長期間、プロジェクターをご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れの際は電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

投写中および投写終了直後は排気口を触らない



- 投写中および投写終了直後は、排気口付近を触らないでください。排気口付近が高温になり、やけどの原因となることがあります。

⚠️ 注意

キャリーバッグの取り扱いについて



無理な扱いはしない

- プロジェクターを入れて振り回さないでください。また、本機および本機の付属品以外は入れないでください。プロジェクターやキャリーバッグが落下して、けがの原因となることがあります。

電源コードはコンセントに接続する



- プロジェクターの電源はコンセントを使用してください。直接電灯線に接続することは危険ですので行わないでください。また、天吊り設置のときは電源プラグを抜き差しできるように手の届くコンセントをご使用ください。

電池の取り扱いについて



- 電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 - ・ 電池をショート、分解、火に入れたりしない
 - ・ 指定以外の電池は使用しない
 - ・ 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
 - ・ 電池を入れるときは、極性(+と-の向き)に注意し、表示どおりに入れる
- 電池を捨てる際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

点検について



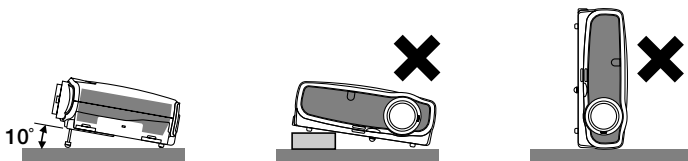
内部の清掃を販売店で

- 1年に一度くらいは内部の清掃を販売店などにご相談ください。プロジェクターの内部にほこりがたまったら、長い間清掃をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の清掃費用につきましては販売店などにご相談ください。

お願い

性能確保のため、次の点にご留意ください

- 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。
動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。
高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。
- 本機を傾けて使用する場合は、調整脚の傾き範囲以内（0～10°）にしてください。調整脚の範囲を超えて傾けたり、左右に傾けたりすると、故障の原因となります。



- こんな場所には設置しないでください。
湿気やほこり、油煙やたばこの煙が多い場所には設置しないでください。
レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になります。また、高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因となります。
- プロジェクターに衝撃を与えたりしないでください。
- 結露にご注意ください。
- 使用温度範囲 5～40℃、保管温度 -10～50℃。
(ただし、35～40℃は「冷却運転」になります。)
- 本機を長時間にわたり連続して使用される場合は、「ファンモード」を「高速」にしてください。なお、「高速」にした場合はファンの音が大きくなります(● 66ページ)。
- 高所(気圧の低い所)で使用するときは、「ファンモード」を「高速」にしてください。
- コンピューターなどで同じ絵柄の静止画を長時間投写すると、その絵柄がいつまでも残ることがあります。長時間同じ絵柄を投写することはおすすめしません。
- スクリーンへの外光対策をしてください。
スクリーンには、照明など本機以外からの光が入らないようにしてください。
外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- スクリーンについて
ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
- 持ち運びについて
 - ・ 付属のキャリーバッグに収納して持ち運んでください。
 - ・ レンズに傷が付かないように必ずレンズキャップを取り付けてください。
 - ・ 付属のキャリーバッグはプロジェクターを持ち運ぶとき、ほこりなどによる汚れの防止と、キャビネット表面保護のためのものです。キャリーバッグはプロジェクターを外部からの衝撃から保護するように設計されていません。キャリーバッグに入れて持ち運ぶとき、衝撃を与えたり、落としたり、またはキャリーバッグに入れたプロジェクターの上に物を置かないでください。破損の原因となります。プロジェクターをキャリーバッグで輸送しないでください。破損の原因となります。

- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。
投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、レンズ面には手をふれないでください。
また、本機を使用されないときは、付属のレンズキャップをかぶせておいてください。
- 廃棄について
本体、交換ランプ、およびリモコン用乾電池を捨てる際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

電源プラグを抜く際の注意

- 投写中は、主電源スイッチを切ったり、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
機器が故障するおそれがあります。
- 本機の電源を切ったあとは、冷却ファン回転中でも、主電源スイッチを切ったり、電源プラグをコンセントから抜くことができます。
電源を切ったあとの冷却ファン回転中に、主電源スイッチを切ったり、電源プラグをコンセントから抜くと、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

ランプについての安全上のご注意

本プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。
この水銀ランプは次のような性質を持っています。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりします。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間はそれぞれのランプで大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- ランプは使用時間の経過による劣化などで、次第に暗くなります。
- ランプ交換の指示（LAMPランプが点滅）が出たら、破裂の可能性が高くなっているため、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 万が一、ランプが破裂した場合に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入らないように、ご使用中は排気口に顔を近づけないでください。

ランプが破裂した場合

プロジェクター内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスや粉じんが排気口から出たりすることがあります。ランプ内部のガスには水銀が含まれています。破裂した場合は窓や扉を開けるなど部屋の換気を行ってください。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。ランプが破裂した場合、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性があります。キャノンお客様相談センターへプロジェクター内部の清掃とランプの交換、プロジェクター内部の点検をご依頼ください。

使用済みランプを捨てるとき

プロジェクターの水銀ランプを捨てるときは、蛍光灯と同じ取り扱いで、各自治体の条例に従い行ってください。

目次

はじめに	表紙裏
安全にお使いいただくために	1
お願い	6
目次	8
使用説明書の表記について	10

1. 付属品や名称を確認する 11

1-1. 特長	11
1-2. 付属品の確認	12
1-3. 本体各部の名称	14
1-4. リモコン各部の名称	18

2. 設置と接続 21

2-1. 設置と接続の流れ	21
2-2. スクリーンとプロジェクターを設置する	22
2-3. コンピューターと接続する	24
2-4. RGBモニターと接続する	25
2-5. DVDプレーヤーなどのAV機器と接続する	26
2-6. 書画カメラと接続する	28
2-7. 電源コードを接続する	29

3. 映像を投写する(基本操作) 30

3-1. 映像を投写する流れ	30
3-2. 電源を入れる	31
3-3. 入力信号を選ぶ	33
3-4. 投写画面の位置と大きさを調整する	34
3-5. 台形歪みを手動で調整する	38
3-6. 映像を自動調整する	40
3-7. 音量を調整する	40
3-8. 電源を切る	41
3-9. あとかたづけ	42





4. 便利な機能 43

4-1. 映像と音声を一時的に消す	43
4-2. 静止画にする	43
4-3. 映像を拡大する	44
4-4. 本機のリモコンでコンピューターのマウス操作を行う	45
4-5. パスワードを設定して無断使用を防止する	47

5. オンスクリーンメニュー	50
5-1. オンスクリーンメニューの基本操作	50
5-2. オンスクリーンメニュー一覧	54
5-3. イメージ調整	56
5-4. 表示設定	59
5-5. セットアップ	62
5-6. 情報	68
5-7. リセット	69
6. 本体のお手入れ／ランプの交換	70
6-1. エアフィルターの清掃	70
6-2. レンズの清掃	71
6-3. キャビネットの清掃	72
6-4. ランプとエアフィルターの交換	73
7. 付録	79
困ったときには	79
POWER/WARNING/LAMPランプ表示一覧	83
投写距離と画面サイズ	85
対応解像度一覧	87
外観図	88
RGB-IN/COMPONENT IN端子のピン配列と信号名	89
サービスポートのピン配列と制御コマンド	89
トラブルチェックシート	90
仕様	92
索引	93
保証とアフターサービス	97

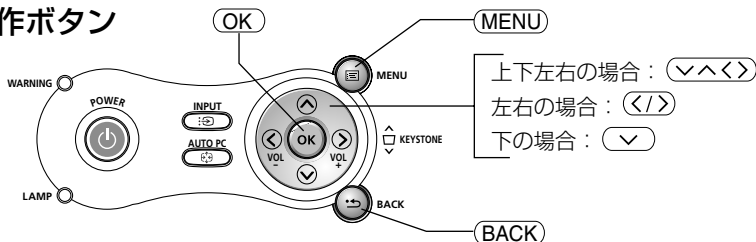
使用説明書の表記について

マークの意味

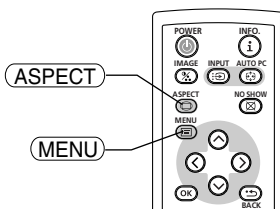
	データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意していただきたいことを表しています。
	注意や制限事項を表しています。
	補足説明や役立つ情報を表しています。
	この使用説明書内の参照ページを表しています。

操作ボタンの表記例

●本体の操作ボタン



●リモコンの操作ボタン



オンスクリーンメニュー項目の表記例

[イメージ調整]



参考
ページ

●この使用説明書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

1. 付属品や名称を確認する

1-1. 特長

● 液晶方式の小型高輝度プロジェクター

液晶方式を採用し、小型で、高輝度を実現しました。

● クイックスタート(8秒) & クイッククーリング(30秒)

電源を入れてからわずか8秒で映像が表示され始めます。

また、電源を切ったあと、わずか30秒でクーリングが終了するため、すぐにかたづけすることができます。

さらに、本機の電源を切ったあとは、冷却ファン回転中でも、主電源スイッチを切ったり、電源プラグをコンセントから抜くことができます。

● コンピューターの入力信号を自動調整

アナログRGB出力のコンピューター (IBM PC/AT 100%互換機) やMacintoshなど、コンピューターの入力信号も自動調整。

● U-XGAまでの解像度に対応

XGA (1024×768ドット) にリアル対応、U-XGA (1600×1200ドット) の入力信号まで圧縮表示対応でカバー。

● 投写画面の台形歪みを自動的に補正

本機の上下方向の傾きを感知し、投写した画面が台形に歪むのを自動的に補正します。

● スクリーン色補正

投写している壁面の色に応じて、見やすい色合いにワンタッチで補正することができます (スクリーン色補正機能)。

これにより、スクリーンが設置されていないところでも、見やすい映像を投写することができます。

● 動画もきれいに再生できるコンポーネント入力に対応

RGB-IN/COMPONENT IN端子に別売のコンポーネントケーブル (製品形名LV-CA32) を接続すると、自動判別機能によりコンポーネント信号に自動的に切り替えます。DVDやハイビジョン放送など16:9のワイドサイズ映像もクリアな映像で再生できます。

● お好みの色を設定&記憶できる、イメージモード設定機能

プレゼンテーションや映画など、映像ソースに応じた映像補正機能を搭載。5つの映像設定状態から選べます。また、お客様が調整した状態を本体内のメモリーに記憶できます。

● 無断使用を防止するパスワード機能

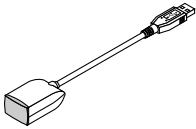
パスワードを設定することにより、他人が無断で本機を使用できないようにすることができます。

1-2. 付属品の確認

付属品の内容をご確認ください。

	<p>プロジェクター（本機） コンピューターのデータや、DVDの動画などを大きなスクリーンに映す機器です。</p> <p>レンズキャップ 本機のレンズに装着し、移動時や保管時にレンズを保護します。</p>
	<p>リモコン 本機の電源の入/切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。 ご購入後はじめて使用するときは、付属の単4乾電池2本をセットしてください（P.20ページ）。</p> <p>単4乾電池2本 付属のリモコンにセットします。</p>
	<p>電源コード（長さ 4.5m） AC100Vと本機に接続します。</p>
	<p>コンピューター接続ケーブル（ミニD-Sub 15ピン）（長さ1.8m） コンピューターの画面をスクリーンに投写する場合に使用します（P.24ページ）。</p>
	<p>キャリーバッグ 本機や付属品を収納します。移動時や保管時にご使用ください。</p>
<p>クイックスタートガイド 機器の接続、電源を入れる、投写画面の調整、操作ボタンの動きなど、基本的な操作方法をコンパクトにまとめて説明しています。</p> <p>使用説明書（本書） 本機の使いかた、安全のために守っていただきたいこと、保証とサービスなどについて記載しています。</p> <p>保証書 プロジェクターの保証内容・条件を記載しています。</p>	

次ページに続く



マウスレシーバー(長さ 10cm)

コンピューターのUSBポートに接続すると、本機のリモコンでコンピューターのマウス操作が行えます(● 45ページ)。

参考

- 万が一付属品などが不足していたり破損している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 付属品の外観が使用説明書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

1-3. 本体各部の名称

本体前面

ズームレバー

投写した画面の大きさを調整します(●37ページ)。

フォーカスリング

映像のフォーカスを合わせます(●37ページ)。

リモコン受光部

リモコンの信号を受ける部分です(●20ページ)。本体の前面と背面の2箇所にあります。

調整脚ロックボタン

押すと調整脚を伸縮できます。本機の投写角度を固定したいところで、調整脚ロックボタンから指を離します(●35ページ)。

調整脚

投写角度を調整します。調整脚ロックボタンを押して上下に伸縮できます(●35ページ)。

レンズ

ここから映像が投写されます。

操作パネル


本機の電源の入/切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます(●16ページ)。

吸気口/エアフィルター

内部にほこりやゴミが入るのを防止します(●77ページ)。

⚠ 吸気を妨げないようにしてください。故障や火災などの原因となります。

盗難防止用ロック

盗難防止のためワイヤーケーブルを付ける際に使用します。次ページのをご参照ください。

レンズキャップ

レンズを保護します。

⚠ 投写の際には必ず外してください。キャップを付けたまま投写すると、キャップの変形や火災の原因となります。

本体背面

接続端子部

各種映像信号や音声信号のケーブルを接続します(●17ページ)。

リモコン受光部

リモコンの信号を受ける部分です(●20ページ)。本体の前面と背面の2箇所にあります。

主電源スイッチ

主電源スイッチを「I (入)」にすると、スタンバイ状態になります(●31ページ)。

排気口

ランプの熱を排気します。

⚠ 排気を妨げないようにしてください。故障や火災などの原因となります。

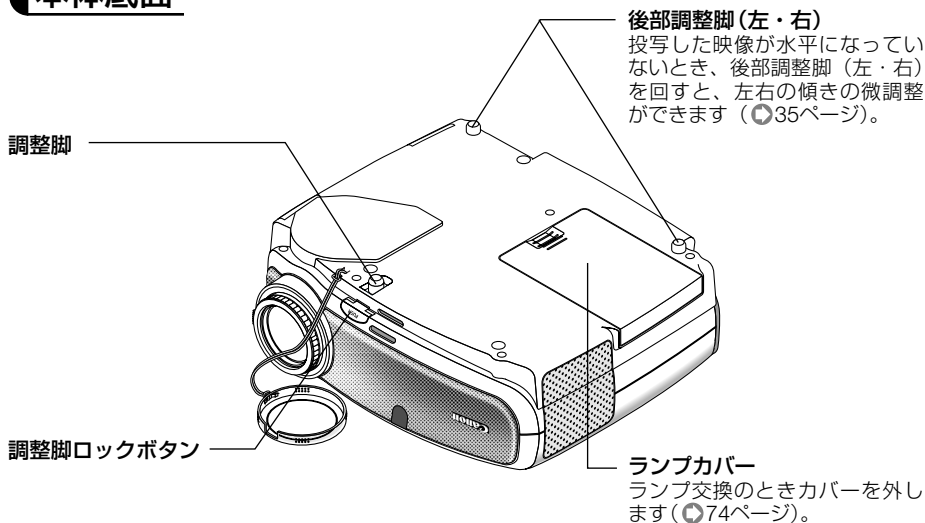
スピーカー(モノラル)

音声入力端子から入力された音声を出します(●40ページ)。


電源コード接続部

付属の電源コードを接続します(●29ページ)。

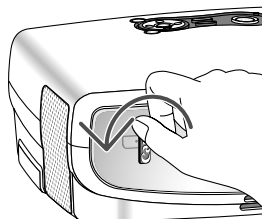
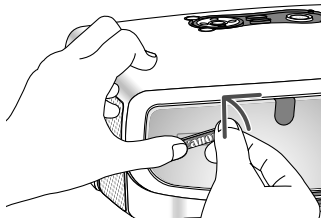
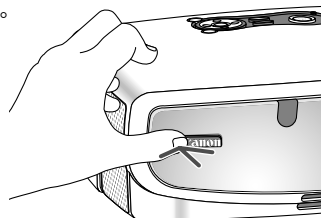
本体底面



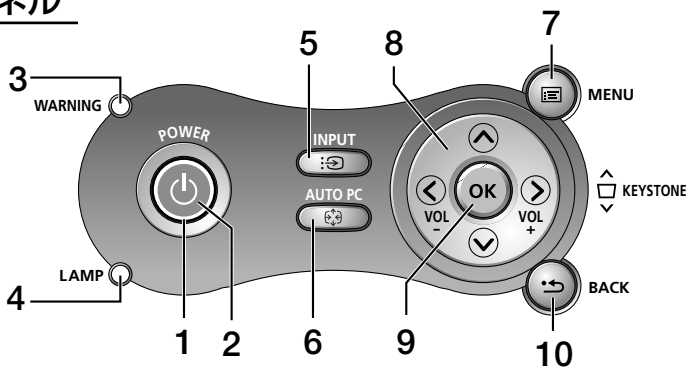
参考

- 盗難防止用ロックについて 
盗難防止用ロックは、キーケーブルロック等のセキュリティワイヤーに対応しています。
- 本体前面のCanonロゴのバッジは、指ではさんで回転し、逆さまにすることができます。天吊り設置のときに利用してください。バッジを回転する際は、次のように操作してください。

- ① バッジの端を軽く押す。
反対側の端が少し浮き上がります。
 - ・右図では「C」部分を軽く押しています。
 - ・反対側の「n」部分が少し浮き上がります。
- ② バッジの端を軽く押しながら、反対側の端を指でつまんで回す。
 - ・右図では「C」部分を軽く押しながら、反対の「n」部分を指でつまんで回しています。
- ③ バッジが回り始めたら、端を押していた指を離し、そのままバッジを回す。



操作パネル



1 (POWER) ボタン

本機の電源を入/切(スタンバイ状態)します。電源を入れるときは、約1秒押しします。電源を切る(スタンバイ状態)ときは、一度押して電源切り確認メッセージを表示してもう一度(POWER)(またはOK)ボタンを押します。

2 POWERランプ

電源が入っているときは緑色に点灯します(●83ページ)。電源が切れている(スタンバイ状態)ときはオレンジ色に点灯します。

3 WARNINGランプ

キーロック中に操作ボタンを押したときや、本機に異常が発生したときに、点灯/点滅します。詳しくは「POWER/WARNING/LAMPランプ表示一覧」をご参照ください(●83ページ)。

4 LAMPランプ

ランプの交換時期がきたことやランプモードの状態(静音モード)をお知らせします(●84ページ)。

5 (INPUT) ボタン

コンピューター入力1、コンピューター入力2、ビデオ入力、S-ビデオ入力を切り替えます。短く押しすと信号選択画面を表示します。また、2秒以上押し続けると次のように切り替わります。
→コンピューター1→コンピューター2→ビデオ→S-ビデオ…
入力されていない信号は飛び越します(●33ページ)。

6 (AUTO PC) ボタン

RGB信号の画像を投写しているときに、最適な状態に自動調整します(●40ページ)。

7 (MENU) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します(●50ページ)。

8 (◀▶) ボタン(音量調整ボタンを兼用)

- ・オンスクリーンメニューを表示しているときに(◀▶)ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選べます(●50ページ)。
- ・オンスクリーンメニューを表示していないときは、(L/R)ボタンで音量の調整、(▽/△)ボタンで台形歪みの調整ができます(●40, 38ページ)。

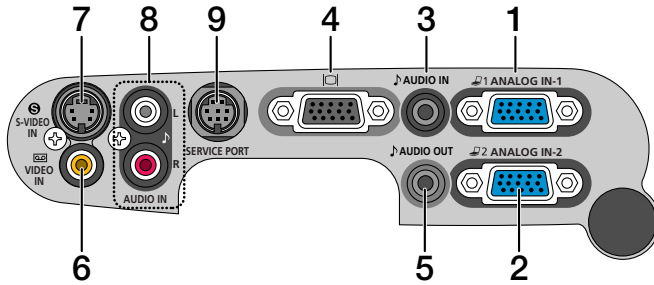
9 (OK) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

10 (BACK) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

接続端子部



1 RGB-IN1 / COMPONENT IN 端子 (ANALOG IN-1) (ミニD-Sub 15ピン)
コンピューターのディスプレイ出力端子や、DVDプレーヤーなどのコンポーネント出力端子と接続します(●24, 26ページ)。

2 RGB-IN2 / COMPONENT IN 端子 (ANALOG IN-2) (ミニD-Sub 15ピン)
コンピューターのディスプレイ出力端子や、DVDプレーヤーなどのコンポーネント出力端子と接続します(●24, 26ページ)。

3 コンピューター音声入力端子 (AUDIO IN) (ステレオ・ミニ)
コンピューターまたはDVDプレーヤーなどの音声出力端子と接続すると、本機のスピーカーから音が出せます(●24, 26ページ)。
本機のスピーカーから出力される音声はモノラルのみです。

4 RGB_OUT 端子 (I/O) (ミニD-Sub 15ピン)
RGB-IN1 / COMPONENT IN 端子 (ANALOG IN-1) の映像信号を出力します(●25ページ)。

5 音声出力端子 (AUDIO OUT) (ステレオ・ミニ)
オーディオアンプと接続します。ヘッドホンは接続できません。
ここに何も接続していない場合は、内蔵スピーカーからモノラルで出力されます。
オーディオケーブルのジャックが挿入されているときは、音声はミックスされずにセパレートで出力されます。
音声入力端子 (AUDIO IN) のLだけに挿入している場合は左の音声だけ出力されます。

6 ビデオ映像入力端子 (VIDEO IN) (RCA-フォノ)
ビデオデッキやDVDプレーヤーなどの映像出力端子と接続します(●27, 28ページ)。

7 S-ビデオ映像入力端子 (S-VIDEO IN) (ミニDIN-4ピン)
ビデオデッキやDVDプレーヤーなどのS映像出力端子と接続します(●27, 28ページ)。

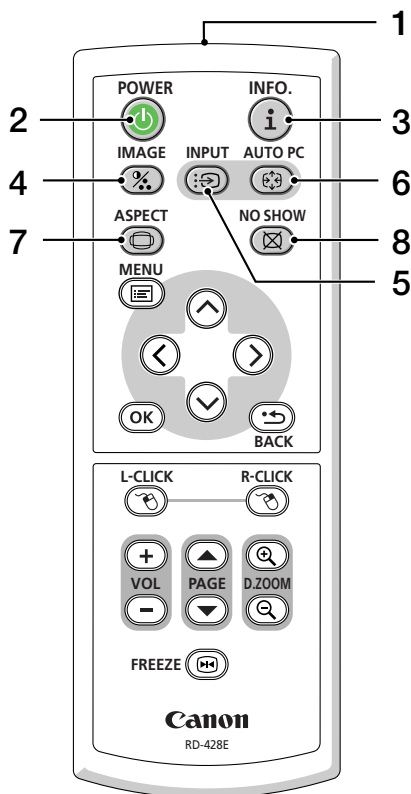
8 S-ビデオ / ビデオ音声入力端子 (AUDIO IN) (RCA-フォノ)
本機のS-ビデオ映像入力端子 (S-VIDEO IN)、またはビデオ映像入力端子 (VIDEO IN) に接続した機器の音声出力端子と接続します。

9 サービスポート (SERVICE PORT) (ミニDIN-8ピン)
コンピューターで本機を操作するときに使います。

1

付属品や名称を確認する

1-4. リモコン各部の名称



1 リモコン送信部

赤外線によるリモコン信号が送信されます。本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

2 (POWER) ボタン

電源の入/切を行います。

- 本機のスタンバイ時 (POWERランプがオレンジ色に点灯) に、約1秒押しして本機の電源を入れます。
- 本機の電源を切るときは、一度押しして電源切り確認メッセージを表示してもう一度 (POWER) (または (OK)) ボタンを押すと、本機の電源が切れます (スタンバイ状態)。

3 (INFO.) ボタン

情報画面を表示します (● 68ページ)。

4 (IMAGE) ボタン

ボタンを押すたびに、イメージモード設定、明るさ、コントラスト、シャープネス、色の濃さ、色合いの映像調整項目を順に表示します (● 56,58ページ)。

5 (INPUT) ボタン

コンピューター入力1、コンピューター入力2、ビデオ入力、S-ビデオ入力を切り替えます。短く押すと信号選択画面を表示します。また、2秒以上押し続けると次のように切り替わります。

→ コンピューター1 → コンピューター2 →
ビデオ → S-ビデオ …

入力されていない信号は飛び越します (● 33ページ)。

6 (AUTO PC) ボタン

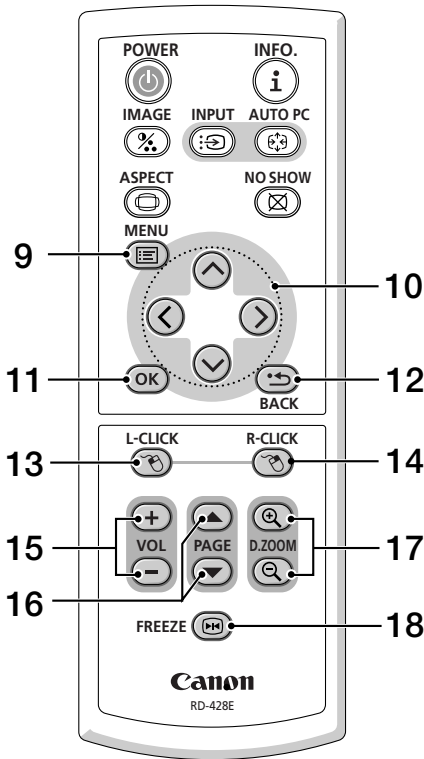
投写しているRGB信号の画像を最適な状態に自動調整します (● 40ページ)。

7 (ASPECT) ボタン

アスペクト調整項目を表示します (● 59ページ)。

8 (NO SHOW) ボタン

映像と音声を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。



9 (MENU) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。

10 (方向キー) ボタン

オンスクリーンメニュー操作や (D.ZOOM +/-) ボタンを使った画面拡大時の表示位置調整に使います。また、コンピューターにマウスレシーバーを接続しているときは、コンピューターのマウスとして動作します (45,46 ページ)。

11 (OK) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

12 (BACK) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

13 (L-CLICK) ボタン

コンピューターの操作をするボタンです (45, 46 ページ)。マウスの左ボタンの動作をします。

14 (R-CLICK) ボタン

コンピューターの操作をするボタンです (45, 46 ページ)。マウスの右ボタンの動作をします。

15 (VOL +/-) ボタン

内蔵スピーカーの音量と音声出力端子 (AUDIO OUT) の音量を調整します。

16 (PAGE ▲/▼) ボタン

コンピューターの操作をするボタンです (45, 46 ページ)。画面のスクロールや、PowerPointの画面切り替えなどに使用します。

17 (D.ZOOM +/-) ボタン

画面の拡大・縮小(もとに戻す)をします (44 ページ)。

18 (FREEZE) ボタン

表示されている画像が静止画となります。もう一度押すと戻ります (43 ページ)。

●電池の入れかた

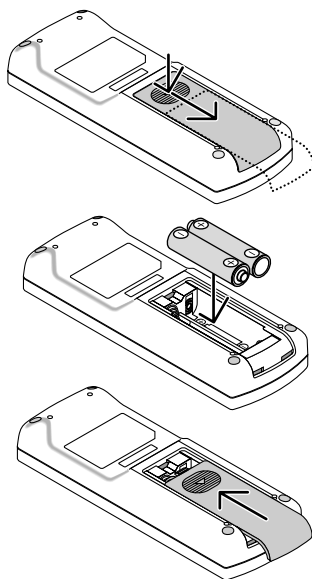
1 リモコン裏面の電池ケースのふたを押しそのまま手前に引き、上に持ち上げて外す。

2 ケース内部に印刷されている+、-の向きに合わせて単4乾電池をセットする。

3 もとどおりにふたをする。



● 乾電池を交換するときは、2本とも同じ種類の単4乾電池をお買い求めください。

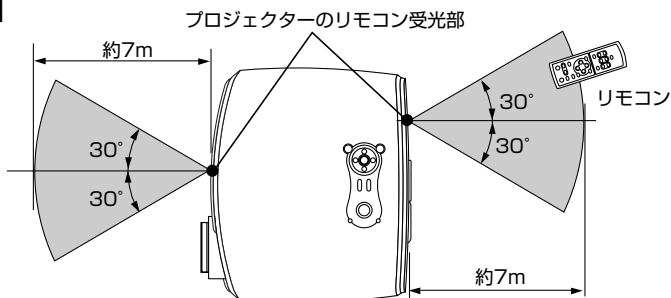


●リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。

リモコンをスクリーンに反射させて本体前面のリモコン受光部で受信することもできます。

【水平方向の受光範囲】



(注) 有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

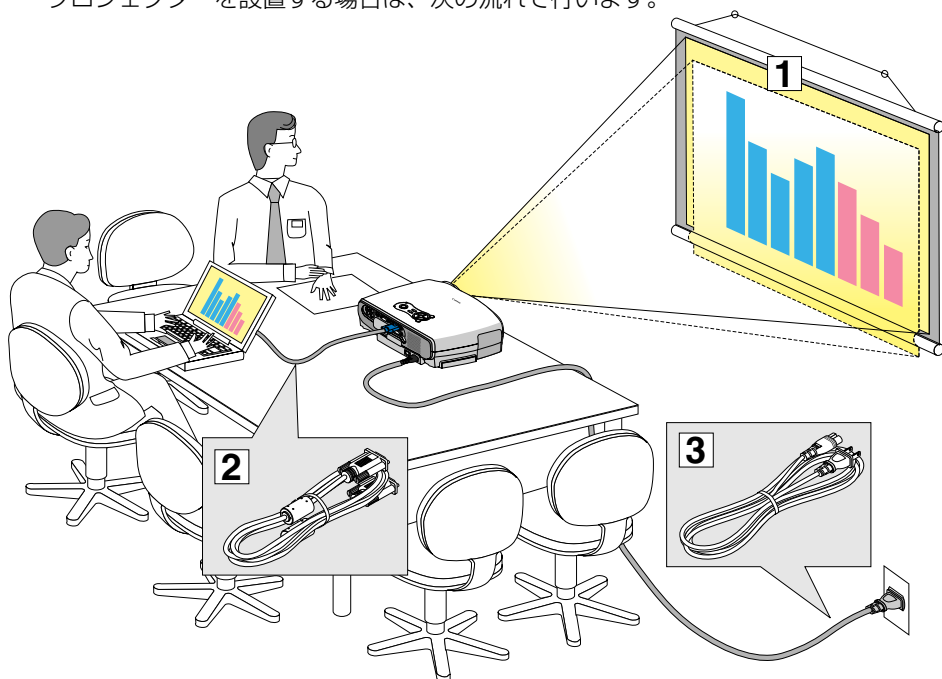
●リモコンの使用上の注意

- 本機のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中で障害物があると信号がさえぎられていると動作しません。
- 本体から約7m以内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンを落としたり、誤った取り扱いはいけません。
- リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を取り出してください。

2. 設置と接続

2-1. 設置と接続の流れ

プロジェクターを設置する場合は、次の流れで行います。



2

設置と接続

ステップ 1

スクリーンとプロジェクターを設置する (▶ 22ページ)

ステップ 2

コンピューターやビデオデッキなどをプロジェクターに接続する

- ・コンピューターと接続する場合 (▶ 24ページ)
- ・RGBモニターと接続する場合 (▶ 25ページ)
- ・DVDプレーヤーやビデオデッキなどのAV機器と接続する場合 (▶ 26, 27ページ)
- ・書画カメラと接続する場合 (▶ 28ページ)

ステップ 3

電源コードを接続する (▶ 29ページ)

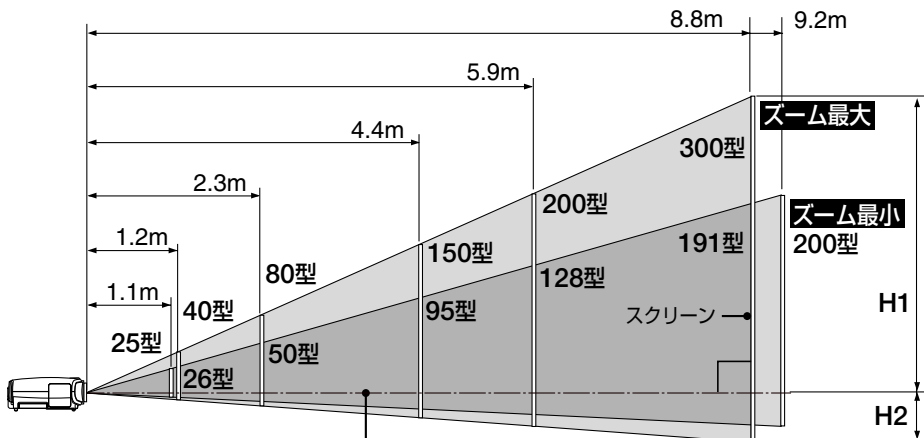
2-2. スクリーンとプロジェクターを設置する

下図を参照して、適切な画面サイズとなる位置にプロジェクターを設置してください。

●スクリーンまでの距離を決める

投写したときの画面サイズは、プロジェクターのレンズからスクリーンまでの距離によって決まります。図を参考にして、目的の画面サイズになる設置場所を選んでください。

なお、画面サイズはレンズの周りのズームレバーで調整することができます。



スクリーンに対して垂直に投写したときの光軸

画面サイズ(型) (幅×高さcm)	25	40	60	80	100	150	180	200	250	300
投写距離(m) ズーム最大	—	1.2	1.7	2.3	2.9	4.4	5.3	5.9	7.3	8.8
投写距離(m) ズーム最小	1.1	1.8	2.7	3.6	4.6	6.9	8.3	9.2	—	—
H1 (cm)	33	52	78	105	131	196	235	262	327	392
H2 (cm)	5	9	13	17	22	32	39	43	54	65

H1、H2：スクリーンに対して垂直に投写したときの光軸を境にした上下の高さ

- 投写距離は、約1.1m(25型の場合)～8.8m(300型の場合)の範囲になるように設置してください。距離が近すぎた場合はフォーカスが合わず、遠すぎた場合は画面が暗くなります。
- 表はアスペクト設定が標準(4:3)のときのサイズですが、投写内容などによっては実際に投写したサイズと異なる場合があります。

注意

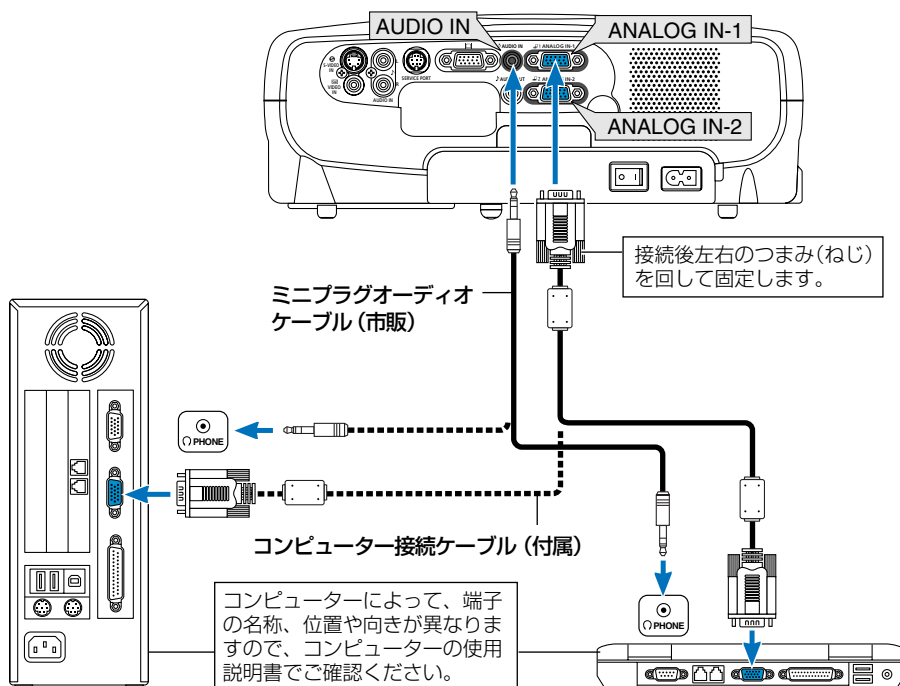
- 設置場所には、本体の排気口(ファン)および吸気口(エアフィルター)をふさぐものがないことを確認してください。
- スクリーンには、太陽光線や照明が直接当たらないようにしてください。明るい部屋では、照明を落とすなどして部屋の明るさをやや落とすと見やすくなります。

参考
▼

- ズームレバーを操作すると、画面のサイズ(対角線の長さ)を約±20%の範囲で変更することができます。
なお、図の各寸法は、設計値のため実際の寸法と多少の誤差がありますので目安としてください。
- 投写距離と画面サイズについては、付録の「投写距離と画面サイズ」をご参照ください(● 85,86ページ)。
- 天吊り／リア投写について
本プロジェクターは、天井から逆さに吊り下げて投写(天吊り)することや、透過型スクリーンを使用してスクリーン裏側から投写(リア投写)することができます。なお、天吊りやリア投写を行う場合は、投写する画像を上下、左右に反転させる必要があります(● 63ページ)。
- 天井から吊り下げる場合は、別売の天吊り金具(製品形名:LV-CL11)が必要です。

2-3. コンピューターと接続する

コンピューター側のディスプレイ出力端子(ミニD-Sub15ピン)と、本機のRGB-IN/COMPONENT IN端子(ANALOG IN-1またはANALOG IN-2)を、付属のコンピューター接続ケーブルで接続します。



注意

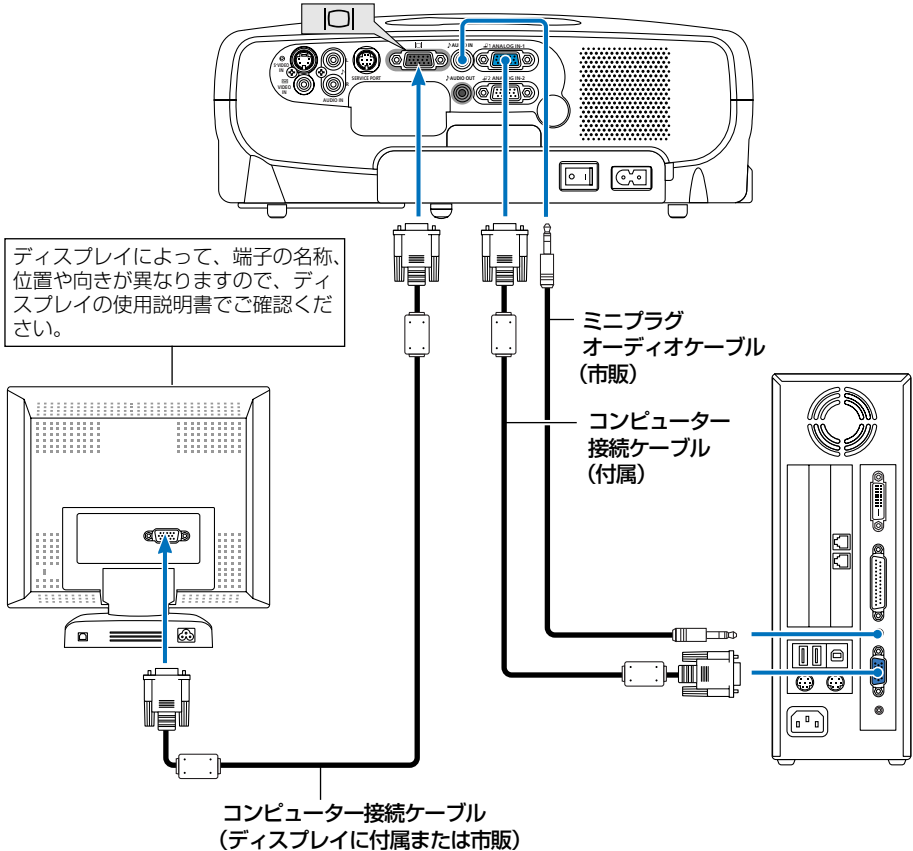
- コンピューターや本機の電源を切ってから接続してください。
- オーディオケーブルをコンピューター音声入力端子(AUDIO IN)に接続する場合、次のことにご注意ください。
 - ① オーディオケーブルを接続する前にコンピューター側の音量を最小に調整しておいてください。
 - ② 本機の使用時に、本機とコンピューターの双方で適切な音量に調整してください。
 - ③ 抵抗が内蔵されていないオーディオケーブルをご使用ください。抵抗内蔵タイプでは、音声が小さくなります。
- コンピューターにミニジャックタイプの音声出力端子がある場合は、その端子にオーディオケーブルを接続することをおすすめします。
- スキャンコンバーターなどを介してビデオデッキを接続した場合、早送り・巻き戻し再生時に正常に表示できない場合があります。

参考

- RGB-IN 1/COMPONENT IN端子(ANALOG IN-1)は、Windowsのプラグ・アンド・プレイに対応しています。
- Macintoshとの接続では、Macintosh用信号アダプター(市販品)が必要になる場合があります。

2-4. RGBモニターと接続する

図のように、デスクトップ型のコンピューターと本機を接続したときなど、本機で描写している画面と同じ画面を、手もとのディスプレイにも表示 (モニター) して確認できます。



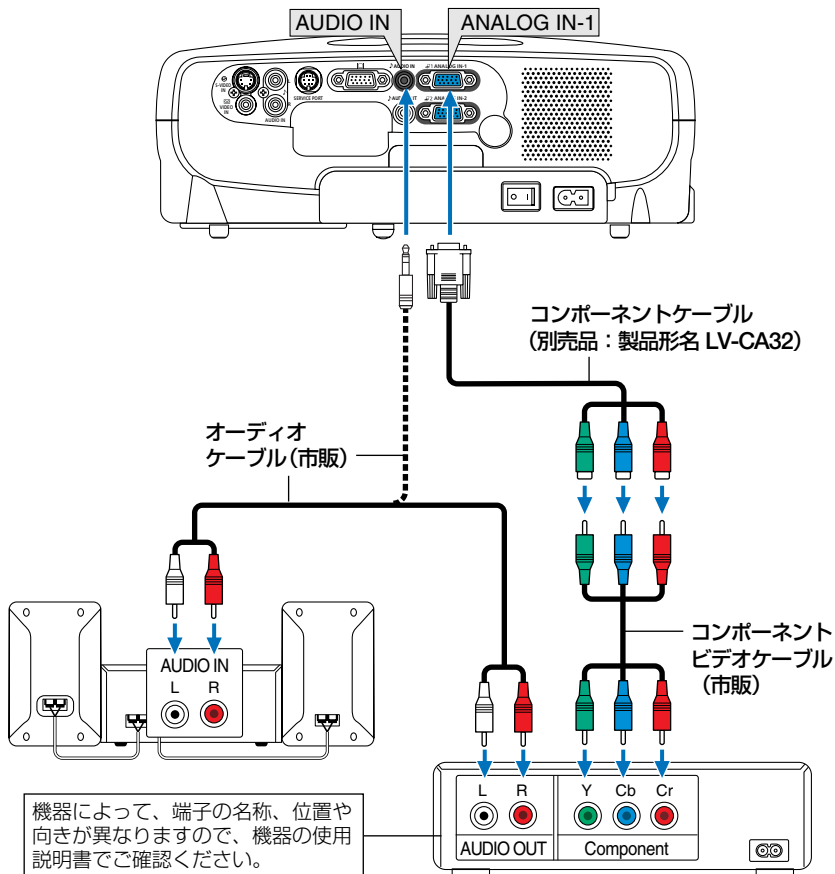
注意

- 本機のRGB OUT端子 (I/O) は、1台のディスプレイへ映像信号を出力するためのものです。複数のディスプレイやプロジェクターを連続してつなぐような使いかたはできません。
- RGB-IN 2/COMPONENT IN端子 (ANALOG IN-2) の信号は、RGB OUT端子 (I/O) から出力されません。
- オーディオケーブルは抵抗が内蔵されていないタイプをご使用ください。抵抗内蔵タイプでは、音声が小さくなります。

2-5. DVDプレーヤーなどのAV機器と接続する

コンポーネント信号の接続

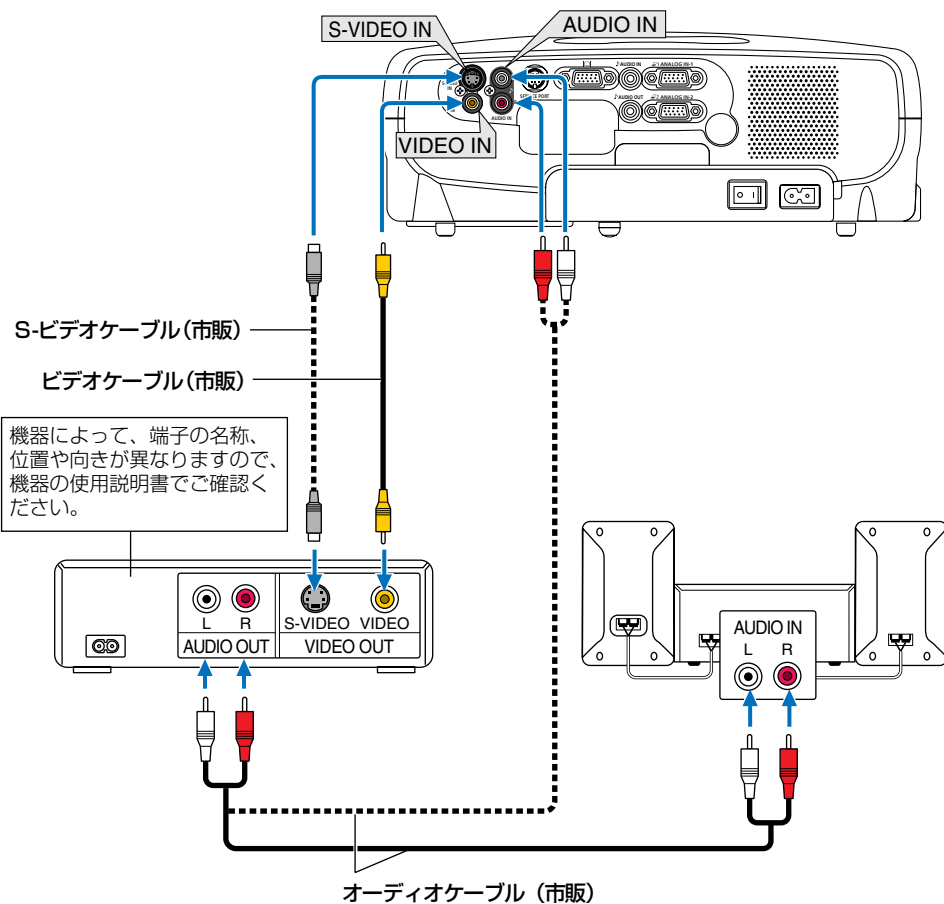
DVDプレーヤーの色差出力端子 (DVD映像出力) やハイビジョンビデオなどのYPbPr出力端子 (HD映像出力) を使って本機で映すことができます。DVDプレーヤーの音声はオーディオ機器と接続してください。



- 通常は自動でRGBとコンポーネントを判別して切り替えますが、判別できない場合は、本機のオンスクリーンメニューから [セットアップ] → [入力信号選択] → [コンピューター1/2] の設定画面でコンピューター信号を「COMPONENT」に設定してください (67ページ)。
- D端子付きの映像機器と接続する場合は、市販のD端子変換アダプターをお使いください。

ビデオ信号／S-ビデオ信号の接続

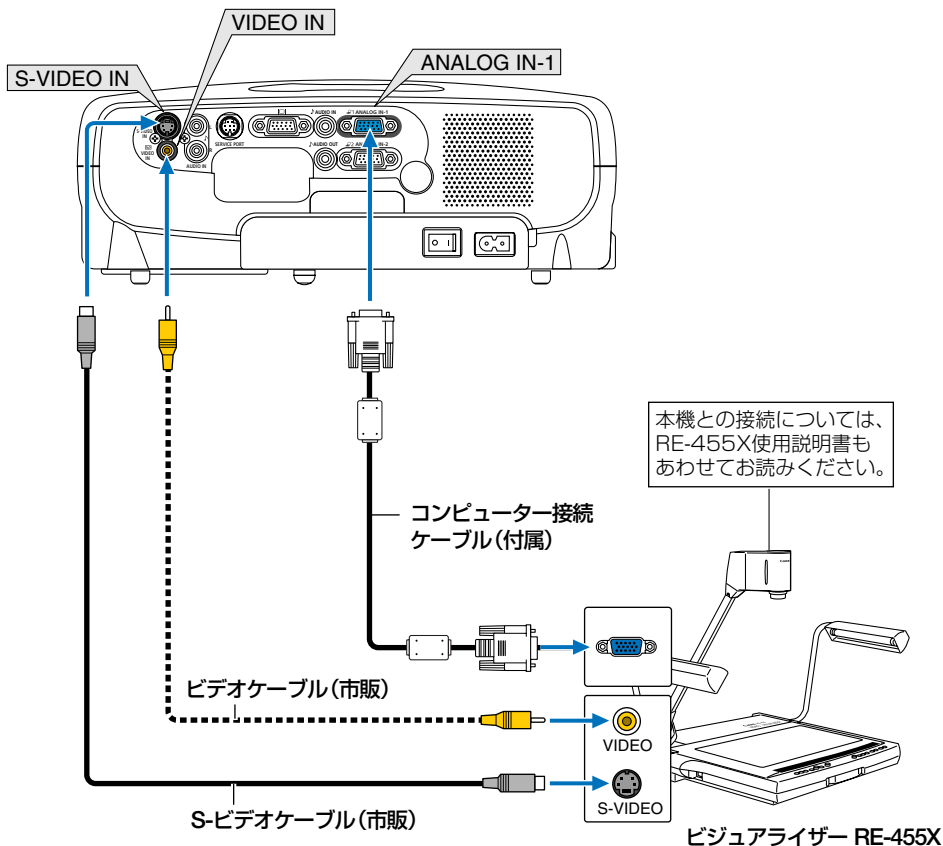
ビデオデッキ、テレビチューナーなどのビデオ信号／S-ビデオ信号の映像を映す場合は、市販のケーブルを使用してください。



- ビデオ入力とS-ビデオ入力の音声入力端子(AUDIO IN)は兼用です。

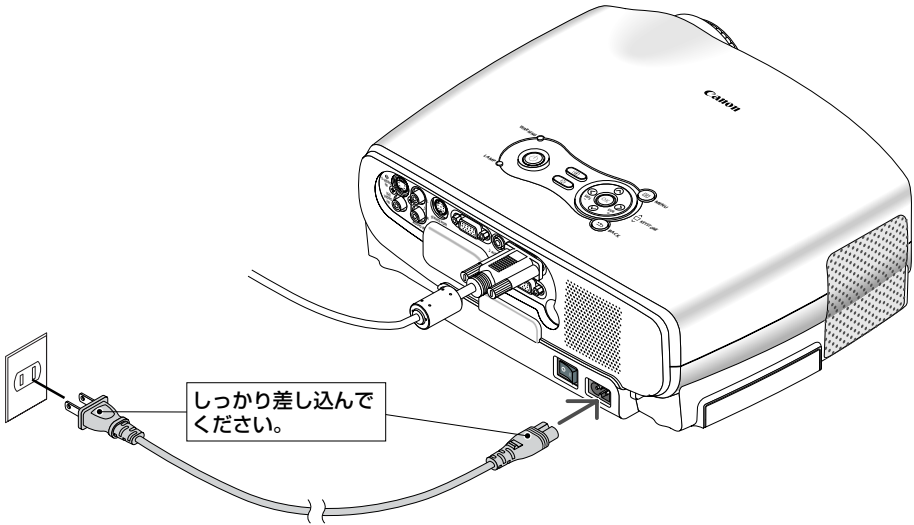
2-6. 書画カメラと接続する

本機に別売の書画カメラ (ビジュアライザー RE-455X) を接続すると、印刷された資料や立体をスクリーンに投写することができます。



2-7. 電源コードを接続する

本機の電源コード接続部とAC100Vのコンセントを付属の電源コードで接続します。



2

設置と接続

⚠ 注意

本機の電源を切ったあとの冷却ファンの回転中に、主電源スイッチを切ったり、電源プラグをコンセントから抜くと、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

注意

- 投写中は、主電源スイッチを切ったり、電源プラグをコンセントから抜かないでください。機器が故障するおそれがあります。

参考

- 本機の電源を切ったあとは、冷却ファンの回転中でも、主電源スイッチを切ったり、電源プラグをコンセントから抜くことができます。

3. 映像を投写する(基本操作)

3-1. 映像を投写する流れ

ステップ 1

電源を入れる (▶31ページ)



ステップ 2

入力信号を選ぶ (▶33ページ)



ステップ 3

投写画面の位置と大きさを調整する (▶34ページ)



ステップ 4

映像や音声を調整する

- ・画質を調整する場合 (▶40ページ)
- ・音量を調整する場合 (▶40ページ)



ステップ 5

プレゼンテーションを行う



ステップ 6

電源を切る (▶41ページ)



ステップ 7

あとかたづけ (▶42ページ)

3-2. 電源を入れる

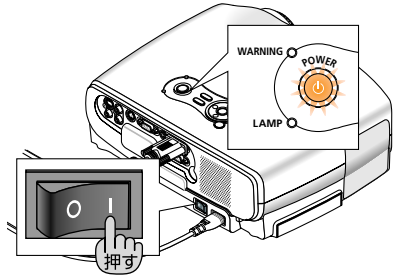
準備：「2 設置と接続」(21ページ)を参照のうえ、機器の接続を行ってください。

重要

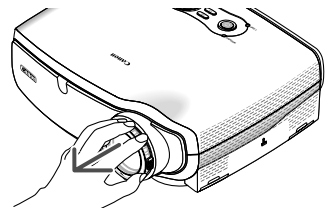
- 本機の電源コードの取り付け、取り外しは、主電源スイッチが「○ (切)」の状態で行ってください。
主電源スイッチが「I (入)」の状態では電源コードの取り付け、取り外しを行うと、故障の原因となります。
- 本機の電源の入/切は、「主電源スイッチ」と「(POWER) ボタン」の2段階の操作で行います。
- 電源を入れる (このページ)
 - ① 「主電源スイッチ」を「I (入)」にする。
本機がスタンバイ状態になります。
 - ② 「(POWER) ボタン」を約1秒押す。
本機の電源が入ります。
- 電源を切る (41ページ)
 - ① 「(POWER) ボタン」を一度押して電源切り確認メッセージを表示して、もう一度同じボタンまたは (OK) ボタンを押す。
本機がスタンバイ状態になります。
 - ② ファンの回転が終わったら、「主電源スイッチ」を「○ (切)」にする。
本機の電源が切れます。

1 主電源スイッチを「I (入)」にする。

本機のPOWERランプがオレンジ色で点灯します (スタンバイ状態)。

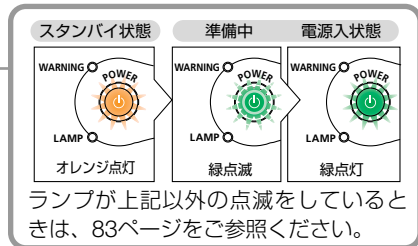
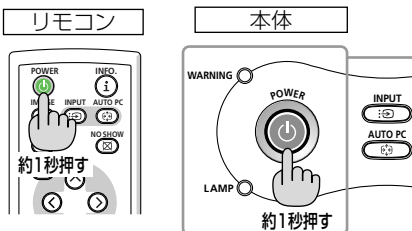


2 レンズからレンズキャップを取り外す。

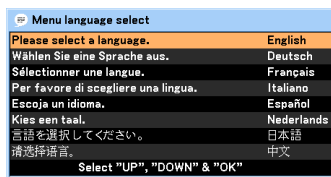


3 (POWER) ボタンを約1秒押す。

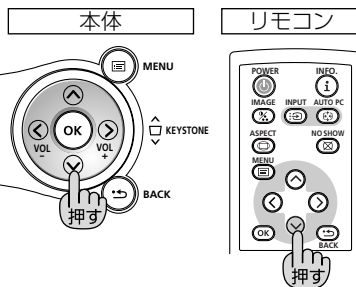
本機の電源が入り、しばらくしてスクリーンに映像が表示され始めます。



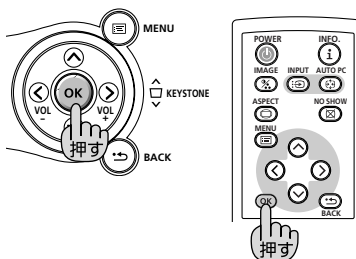
- ・信号が入力されていないときは、青い画面（工場出荷状態）が表示されます。
- ・ご購入後はじめて電源を入れたときは「Menu Language Select（言語選択）」画面が表示されます。次のように操作して「日本語」を選んでください。
 なお、映像がぼやけている場合は、フォーカスリングを回して画面のフォーカスを合わせてください（▶37ページ）。



- ① (V) ボタンを押して、カーソルを[日本語]に合わせる。



- ② (OK) ボタンを押す。
画面が消え、オンスクリーンメニューの表示が日本語に設定されます。



注意

- 本機の電源が入っている間は、レンズからレンズキャップを外しておいてください。高温になりレンズキャップが変形する場合があります。
- 次のような場合は、(POWER) ボタンを押しても電源が入りません。
 - ・内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待つて（内部の温度が下がって）から電源を入れてください。
 - ・ランプの寿命がきた場合は電源が入りません。ランプを交換してください。
 - ・電源を入れてもランプが点灯せず、WARNINGランプが点滅（6回周期の点滅）している場合は、60秒以上待つて再度電源を入れてください。
- POWERランプ点滅中は電源を切ることができません。
- 電源を入れたとき、ランプが安定して点灯するまで（3～5分）映像がちらつく場合があります。これはランプの特性上発生するもので故障ではありません。
- ランプの消灯直後に電源を入れたときやランプの温度が高いときは、ファンのみが動作後、しばらくたってからスクリーンに映像が投写されます。

3-3. 入力信号を選ぶ

1 本機に接続しているコンピューターやビデオデッキなどの電源を入れる。

ビデオデッキなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

2 (INPUT) ボタンを短く押す。

信号選択画面が表示されます。

3 (INPUT) ボタンを数回短く押して、投写したい入力信号にカーソルを合わせる。

ボタンを短く押すたびに、次の入力信号にカーソルが移動します。

- ・しばらくすると選んだ入力信号に切り替わります。

- 参考
- (INPUT) ボタンを2秒以上押すと、入力している信号を自動的に探します。

参考

- 入力信号がないときは、青い画面 (工場出荷状態) が表示されます。ビデオデッキやDVDプレーヤーなどは再生 (PLAY) 操作をしてください。
- ノート型コンピューターの画面がうまく投写できない場合
ノート型コンピューターの外部出力 (モニター出力) 設定を外部に切り替えてください。
- Windowsの場合はファンクションキーを使います。
[Fn] キーを押したまま (⇐/⇒) などの絵表示や (LCD/VGA) の表示があるファンクションキーを押すと切り替わります。しばらく (プロジェクターが認識する時間) すると投写されます。

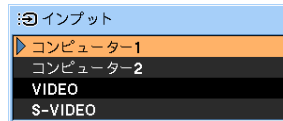
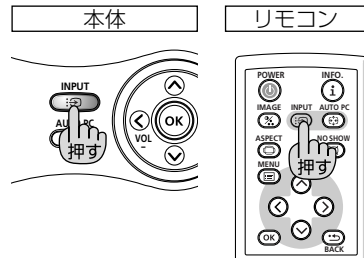
【コンピューターメーカーとキー操作の例】

[Fn] + [F3]	NEC, Panasonic, GATEWAY, SOTEC
[Fn] + [F4]	HP
[Fn] + [F5]	TOSHIBA, SHARP, MITSUBISHI
[Fn] + [F7]	SONY, IBM, HITACHI
[Fn] + [F8]	DELL, EPSON
[Fn] + [F10]	FUJITSU

通常、キーを押すごとに「外部出力」→「コンピューター画面と外部の同時出力」→「コンピューター画面」…とくり返します。

表に記載されていないメーカーのノート型コンピューターをお使いの場合は、ノート型コンピューターのヘルプ、または使用説明書をご参照ください。

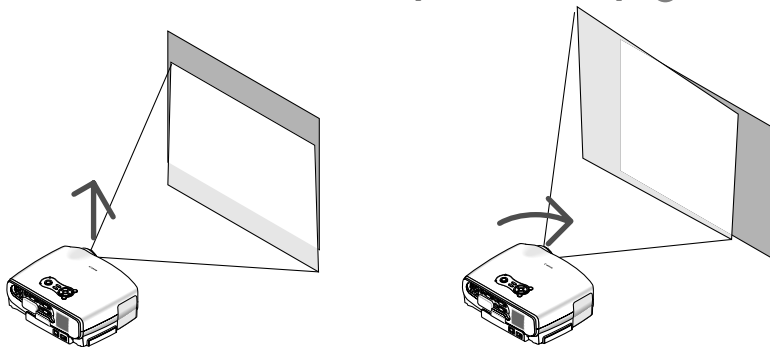
- ・Macintosh PowerBookは、ビデオミラーリングの設定を行います。



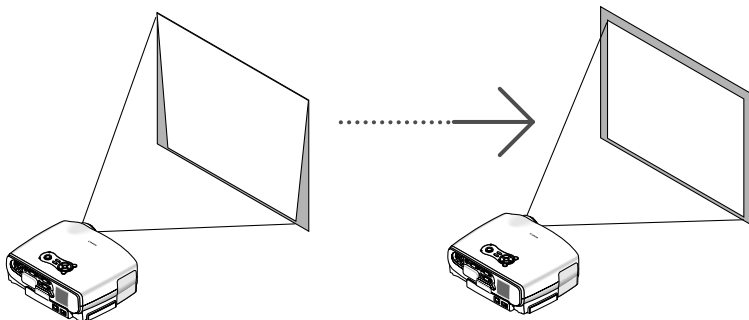
3-4. 投写画面の位置と大きさを調整する

調整脚やズームレバー、フォーカスリングなどを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

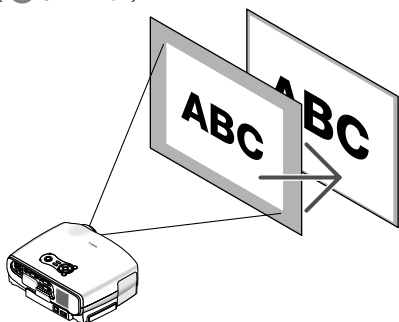
投写角度（投写画面の高低）と左右の傾きの調整【調整脚・後部調整脚】（▶ 35ページ）



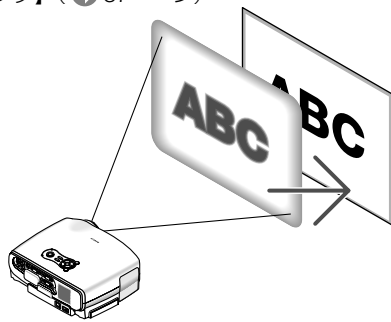
投写画面の台形歪み補正【オートキーストーン】（▶ 36ページ）



投写画面の大きさの調整【ズームレバー】
（▶ 37ページ）



投写画面のフォーカス合わせ【フォーカスリング】
（▶ 37ページ）



※ ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

投写角度の調整とオートキーストーン

●投写角度（投写画面の高低）と左右の傾きの調整（調整脚・後部調整脚）

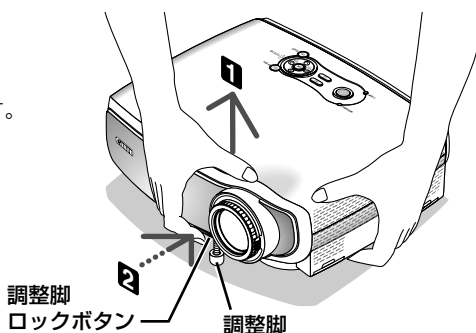
1 本機の前部を持ち上げる。

2 調整脚ロックボタンを押す。

調整脚のロックが外れ、調整脚が伸縮します。

注意

- 投写中は排気口付近が高温になる場合があります。調整脚を調整する際にはご注意ください。

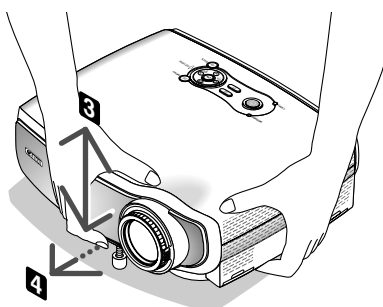


3 調整脚ロックボタンを押したまま、本機の投写角度を調整する。

4 角度を固定したいところで調整脚ロックボタンから指を離す。

調整脚がロックされ、投写角度が固定されます。

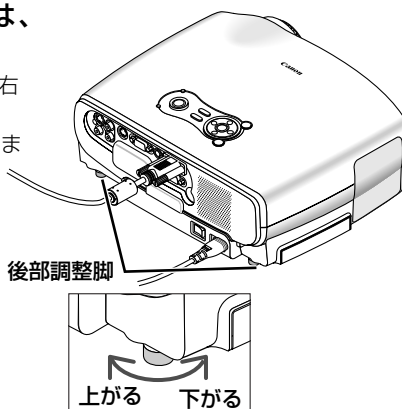
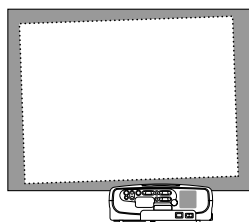
- ・ 調整脚は、最大40mm伸ばすことができます。
- ・ 調整脚により、最大10° 本機を傾けることができます。



5 投写画面の左右が傾いている場合は、後部調整脚を回して微調整する。

後部調整脚を回すと、後部調整脚が伸縮し、左右の傾きを微調整できます。

- ・ 後部調整脚は、最大10mm伸ばすことができます。



注意

- 調整脚は、本機の投写角度、および傾き調整以外の用途には使用しないでください。調整脚部分を持って運んだり、壁に掛けて使用などの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。
- 後部調整脚は10mm以上伸ばさないでください。無理に伸ばそうとすると、後部調整脚の取り付け部分が不安定になり、後部調整脚が本体から外れます。

3

映像を投写する(基本操作)

●オートキーストーン

通常、投写画面は、スクリーンに対して垂直に投写されないと、台形の歪みが生じます。このため、投写角度を調整すると、上下方向に傾きが生じ、画面が歪むこととなります。

しかし、本機の場合は、本体の上下の傾きを感知して、画面の歪みを自動的に補正します。これを「オートキーストーン」と呼びます。




オートキーストーンが正しく機能するよう設置の際は、次の点をご確認ください。

- オートキーストーンは、上下約30°の傾きにまで対応しますが、10°以内での使用をおすすめします。
- オートキーストーンは、投写中、投写角度を固定してから約2秒後に行われます。
- 左右の傾き（水平方向の画面の歪み）は補正できません。
プロジェクターのレンズ面が、スクリーンに平行になるように設置してください。
また、後部調整脚で左右の高さが水平になるように調整してください。

注意

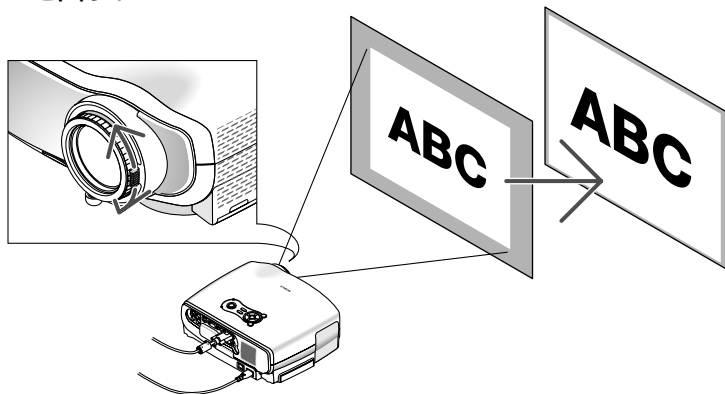
- スクリーンが傾いているとき、室温が極端に高温または低温のとき、レンズのズームを最大または最小にしているときは、オートキーストーンで調整しきれないことがあります。
- 入力信号の種類およびアスペクトの設定によっては補正角度が少なくなる場合があります。
- オートキーストーンは電気的な補正を行っているため、細かい文字が見えにくくなる場合があります。

参考

- オートキーストーンを行いたくない場合は、オンスクリーンメニューの[セットアップ] → [全般] → [オートキーストーン] で「マニュアル」に設定します (62ページ)。
「マニュアル」に設定した場合、[セットアップ] → [全般] → [キーストーン調整] で手動による台形歪み補正が行えます (38ページ)。
- 本体の操作ボタン () を押しても台形歪み補正が行えます (38ページ)。

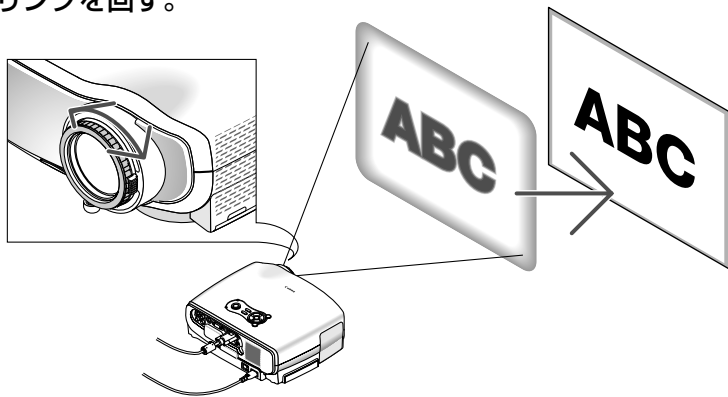
● 投写画面の大きさの調整

- 1 ズームレバーを回す。



● 投写画面のフォーカス合わせ

- 1 フォーカスリングを回す。



3

映像を投写する(基本操作)

3-5. 台形歪みを手動で調整する

注意

- キーストーン調整は電氣的な補正を行っているため、細かい文字が見えにくくなる場合があります。
- キーストーン調整は光学ズーム、入力信号などの条件により異なります。

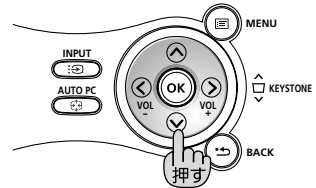
参考

- 手動で調整した値は、[キーストーン調整値保存] で保存しておくことができます(62ページ)。

● 本体の操作ボタンで調整する

- 1 オンスクリーンメニューが表示されていないときに、本体の ∇/\wedge ボタンを押す。

調整バーが表示されます。



- 2 ∇/\wedge ボタンを押して、台形歪みを調整する。

投写画面の左右が垂直になるように調整します。調整後しばらくすると、調整バーが消え、キーストーン調整が決定されます。



参考

- 投写画面にオンスクリーンメニューが表示されている場合は本体の操作ボタンによるキーストーン調整はできません。この場合は、**(MENU)** ボタンを押してオンスクリーンメニューを閉じてから操作を行います。

● リモコンを使って調整する

- 1 **(MENU)** ボタンを押す。

オンスクリーンメニューが表示されます。



- 2 ∇ ボタンを押して、[セットアップ] にカーソルを合わせ、**(OK)** または \triangleright ボタンを押す。

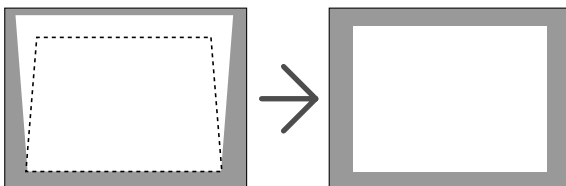
- 3 [全般] にカーソルがあることを確認し、**▽** ボタンを押す。



- 4 **▽** ボタンを押して、カーソルを [キーストーン調整] に合わせる。



- 5 **</>** ボタンを押して、画面の左右が垂直になるように調整する。



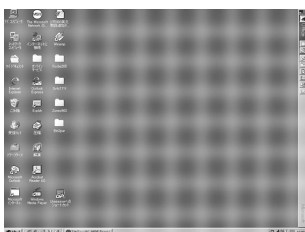
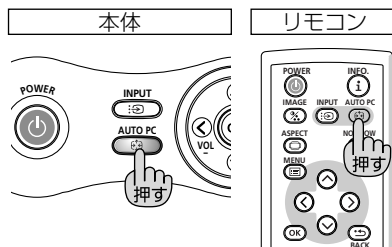
- 6 調整が終わったら、**MENU** ボタンを押して、オンスクリーンメニューを閉じる。

3-6. 映像を自動調整する

コンピューターの画面を投写している場合、投写画面の端が切れていたり、映りが悪いときに、ワンタッチで画質を調整します。

1 AUTO PC ボタンを押す。

しばらくすると投写画面の表示が自動調整されます。



【映りが悪い画面の例】



【自動調整後の画面の例】

参考

- 自動調整を行っても表示位置がずれていたり、画面に縦縞が出たりして映りが悪い場合は、手動で画面の調整を行ってください(▶60ページ)。
- コンピューターの画面がうまく投写できない場合は、81ページをご参照ください。

3-7. 音量を調整する

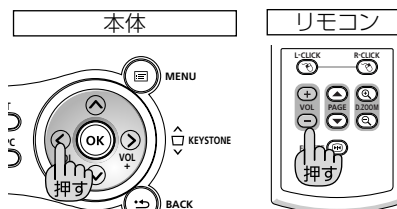
本機の内蔵スピーカーの音量を調整します。

1 オンスクリーンメニューが表示されていないときに、本体の (</>) ボタンを押す。

またはリモコンの (VOL +/-) ボタンを押す。

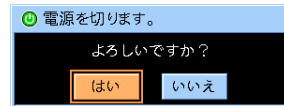
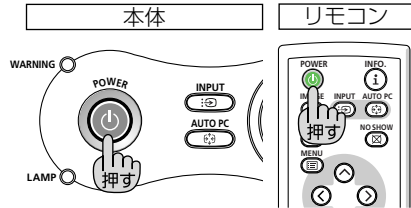
＋側…音量が大きくなります。

－側…音量が小さくなります。

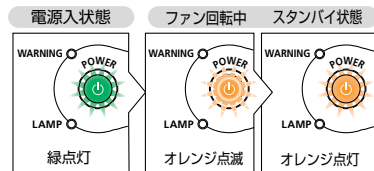


3-8. 電源を切る

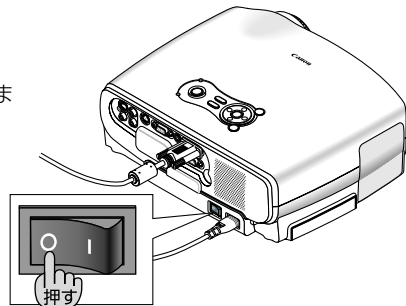
- 1** (POWER) ボタンを押す。
電源切り確認メッセージが表示されます。



- 2** (OK) ボタンを押す。
ランプが消灯し、しばらく冷却ファンが回転します。冷却ファンの回転が終了すると、電源が切れPOWERランプがオレンジ色に変わります(スタンバイ状態)。
- (OK) ボタンの代わりに、(POWER) ボタンを押しても、電源が切れます。
 - 電源を切らない場合は、(左右) ボタンで「いいえ」を選んで (OK) ボタンを押します。



- 3** 主電源スイッチを「○ (切)」にする。
本機のPOWERランプが消え、主電源が切れます。



注意

本機の電源を切ったあとの冷却ファンの回転中に、主電源スイッチを切ったり、電源プラグをコンセントから抜くと、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

注意

- 電源を入れてスクリーンに映像が投写されてからの約60秒間は、電源を切ることができません。
- 投写中は、主電源スイッチを切ったり、電源プラグをコンセントから抜かないでください。機器が故障するおそれがあります。

参考

- 本機の電源を切ったあとは、冷却ファンの回転中でも、主電源スイッチを切ったり、電源プラグをコンセントから抜くことができます。

3-9. あとかたづけ

準備：本機の主電源スイッチが「○(切)」になっていることを確認してください。

- 1 電源コードを取り外す。
- 2 各種信号ケーブルを取り外す。
- 3 調整脚を伸ばしていたら、もとに戻す。
- 4 レンズにレンズキャップを取り付ける。
- 5 本機、および付属品を、キャリーバッグに収納する。



- 本機をキャリーバッグに収納するときは、調整脚を縮めてください。調整脚が伸びた状態で収納すると、故障の原因となります。



- 本機の電源を切ったあとすぐに収納すると、本体がしばらく高温になります。取り扱いに注意してください。

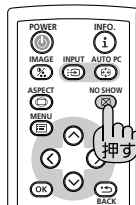
4. 便利な機能

4-1. 映像と音声を一時的に消す

1 リモコンの (NO SHOW) ボタンを押す。

投写されている画像と、内蔵スピーカーから出力されている音声が一時的に消えます。

- ・もう一度 (NO SHOW) ボタンを押すと、画像と音声が出ます。
- ・音声出力端子 (AUDIO OUT) から出力されている音声も消えます。

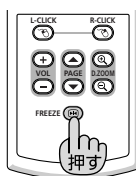


4-2. 静止画にする

1 リモコンの (FREEZE) ボタンを押す。

投写中の画像が一時的に静止画になります。

- ・もう一度 (FREEZE) ボタンを押すと、動画に戻ります。



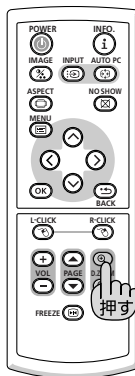
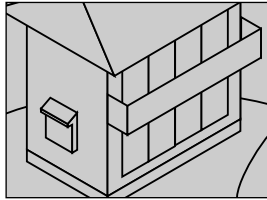
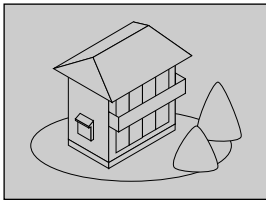
- (FREEZE) ボタンを押すと、押すときに投写されていた画像を静止画メモリーに保存し、静止画メモリー内の画像 (静止画) を映します。静止画表示中、DVDなどの映像再生は先に進行しています。

4-3. 映像を拡大する

1 D.ZOOM + ボタンを押す。

押すごとに画像が拡大します。

- はじめは、画面の中心部分が拡大されます。
- 最大4倍まで拡大できます。



2 <v><^><v> ボタンを押す。

拡大した画像の表示領域が移動します。

3 D.ZOOM - ボタンを押す。

押すごとに画像が縮小します。



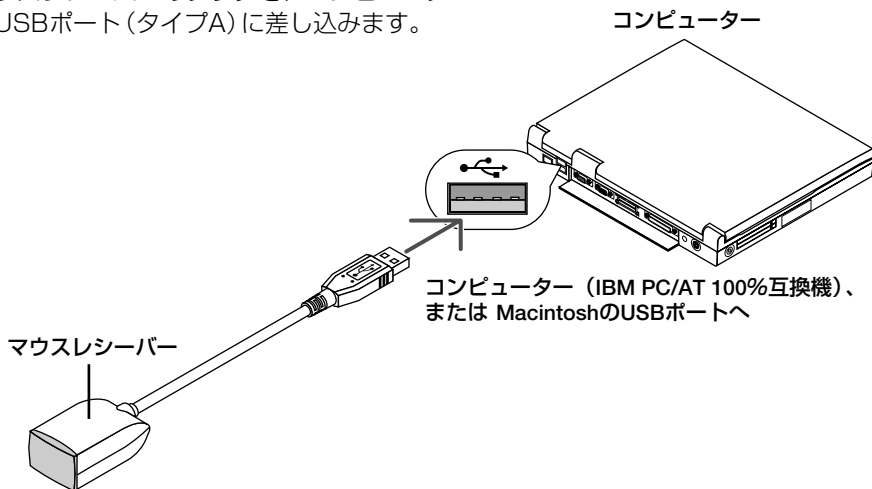
- 信号によっては、4倍まで拡大できない場合があります。

4-4. 本機のリモコンでコンピューターのマウス操作を行う

マウスレシーバーをコンピューターに接続すると、本機のリモコンでコンピューターのマウス操作を行うことができます。

マウスレシーバーの接続

マウスレシーバーのプラグを、コンピューターのUSBポート(タイプA)に差し込みます。



- マウスレシーバーは、次のOSにおいて使用できます。

Windows XP/Windows 2000/Windows Me/Windows 98SE

Mac OS X10.0.0以降

また、Windows XPのSP2より前のバージョンで使用する場合は、「マウスのプロパティ」内の「ポインタオプション」タブの「ポインタの精度を高める」のチェックボックスを切りに設定してください。

- コンピューターのUSBポートからマウスレシーバーのプラグを抜いて、再び差し込む場合は、抜いたあと5秒以上おいてから差し込んでください。瞬間的なプラグの抜き差しを行うと、コンピューターが本機を正しく認識できないことがあります。

リモコンを使ったコンピューターのマウス操作

リモコンで次のマウス操作ができます。

- ・ **(PAGE ▲/▼)** ボタン ……画面を上下にスクロールしたり、PowerPointの画面を切り替えます。
- ・ **(✓へく)** ボタン ……マウスポインターを移動します。
- ・ **(L-CLICK)** ボタン ……マウスの左クリックの働きをします。
- ・ **(R-CLICK)** ボタン ……マウスの右クリックの働きをします。

注意

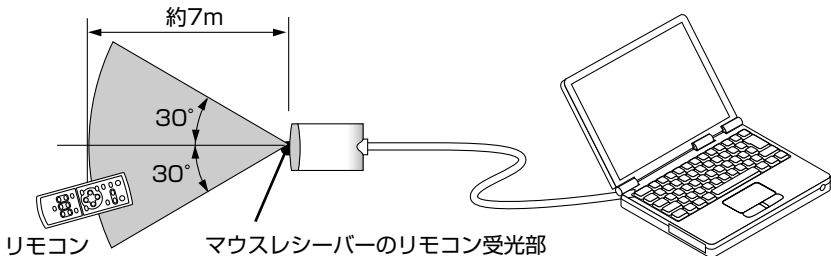
- 本機のオンスクリーンメニューを表示しているときに **(✓へく)** ボタンでコンピューターのマウス操作を行うと、メニューとマウスポインターの両方が動作します。オンスクリーンメニューを消した状態でマウス操作を行ってください。

参考

- マウスポインタの動く速さは、Windowsの「マウスのプロパティ」で調節することができます。詳しくは、コンピューターのオンラインヘルプか使用説明書をご参照ください。
- 本機のリモコンでドラッグ・アンド・ドロップを行えます。
 - ① マウスポインターでアイコンを選ぶ。
 - ② **(L-CLICK)** (または **(R-CLICK)**) ボタンを2~3秒以上押し続けて離す。ドラッグモードになります。
 - ③ **(✓へく)** ボタンを押す。選んだアイコンが移動します。
 - ④ **(L-CLICK)** (または **(R-CLICK)**) ボタンを押す。アイコンがドラッグ・アンド・ドロップされます。
 - ・ドラッグモードを解除するには、**(R-CLICK)** (または **(L-CLICK)**) ボタンを押します。

リモコンの有効範囲

リモコン送信部をマウスレシーバーのリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコン信号が受信できます。



リモコンの使用上の注意

- 本機のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中で障害物があると信号がさえぎられていると動作しません。
- 本体から約7m以内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンを落としたり、誤った取り扱いはいけません。
- リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を取り出してください。

4-5. パスワードを設定して無断使用を防止する

パスワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

パスワードを有効にすると、本機の電源を入れたときにパスワード設定入力画面が表示され、正しいパスワードを入力しなければ映像は投写されません。

切	パスワードを無効にします。
入	パスワードを有効にします。

注意 ●パスワードは、[リセット]では解除されません。

パスワードを有効にする

1 (MENU) ボタンを押す。

オンスクリーンメニューが表示されます。

2 (V) ボタンを押して [セットアップ] にカーソルを合わせ、(OK) ボタンまたは (R) ボタンを押す。



3 (L/R) ボタンを押して「設置」にカーソルを合わせる。

4 (V/^) ボタンで [パスワード] にカーソルを合わせ、(OK) ボタンまたは (R) ボタンを押す。

5 (V/^) ボタンで「入」を選び、(OK) ボタンを押す。

パスワード設定登録画面が表示されます。



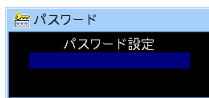
6 (V/^(L/R)) ボタンの組み合わせでパスワードを設定し、(OK) ボタンを押す。

入力したパスワードは「*」で表示されます。
パスワードは4個以上10個以下の組み合わせで設定してください。

- ・パスワード設定中にキャンセルする場合は (MENU) ボタンを押してください。

重要 ●パスワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

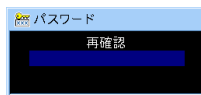
パスワードの再入力画面が表示されます。



7 **6**で設定したパスワードを再入力し、

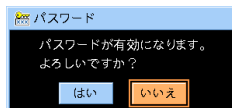
OK ボタンを押す。

確認画面が表示されます。



8 **</>** ボタンで **[はい]** を選び、**OK** ボタンを押す。

パスワードが有効になります。



パスワードを有効にしているときの電源の入れかた

1 主電源スイッチを「**I** (入)」にして、

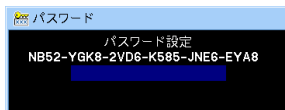
POWER ボタンを約1秒押す。

本機の電源が入り、セキュリティロック中のメッセージが表示されます。

セキュリティロック中です。
パスワードを入力してください。

2 **MENU** ボタンを押す。

パスワード設定入力画面が表示されます。



3 パスワードを入力し、**OK** ボタンを押す。

入力したパスワードは「*」で表示されます。
セキュリティロックが解除され、選んでいる信号が投写されます。



- セキュリティロックの解除状態は、主電源を切り（主電源スイッチを「**O** (切)」にするか、電源コードを抜く）まで保持されます。

パスワードを無効にする

1 **MENU** ボタンを押す。

オンスクリーンメニューが表示されます。

2 **▽** ボタンを押して **[セットアップ]** にカーソルを合わせ、**OK** ボタンまたは **>** ボタンを押す。

3 **</>** ボタンを押して「**設置**」にカーソルを合わせる。

- 4 **✓/△** ボタンで [パスワード] にカーソルを合わせ、**○OK** ボタンまたは **○>** ボタンを押す。

- 5 **✓/△** ボタンで「切」を選び、**○OK** ボタンを押す。
パスワード設定登録画面が表示されます。



- 6 パスワードを入力し、**○OK** ボタンを押す。
入力したパスワードは「*」で表示されます。
パスワードが無効になります。



参考

- パスワードを忘れたときは
有償にて対応いたします。詳しくはキヤノンお客様相談センターまでお問い合わせ
ください。

5. オンスクリーンメニュー

5-1. オンスクリーンメニューの基本操作

本機で投写する画像の画質調整や本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメニューを表示して行います。以降、「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省略して記載します。

メニューは、「メインメニュー」と「サブメニュー」から構成されています。



メニュー画面上部には、本機の状態を表すアイコン類が表示されます。



選んでいる入力信号を表示します。

「オフタイマー」動作中に残り時間が表示されます (▶ 65ページ)。

「冷却運転」のとき表示されます (▶ 63ページ)。

「キーロック」動作中のとき表示されます (▶ 64ページ)。

メニューを操作する

準備：本機の電源を入れて、スクリーンに画像を投写してください。

- 1 (MENU) ボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。



- 2 (V) ボタンを押して、メインメニューの設定したい項目にカーソルを合わせる。
サブメニューの表示も切り替わります。



- 3** (OK) ボタンまたは (➤) ボタンを押す。
サブメニューにカーソルが表示されます。
・ここでは、[イメージ調整]を選んでみます。



- 4** (✓/△) ボタンを押して、サブメニューの設定したい項目にカーソルを合わせる。
・ここでは、[コントラスト]を選んでみます。

注意 ● 入力信号によって、選べない項目があります (▶ 58ページ)。



- 5** (◀/➤) ボタンを押して、コントラストを調整する。
・調整や設定の方法は、項目によって異なります。詳しくは、「項目の調整／設定方法」をご参照ください (▶ 52ページ)。

- 6** 他の項目も調整や設定をする場合は、手順 **4** **5** と同様に操作する。
・メインメニューに戻る場合は、(BACK) ボタンを押します。

- 7** 調整が終わったら、(MENU) ボタンを押す。
メニュー画面が消えます。

注意 ● メニューを表示した状態で45秒間(工場出荷時の設定)操作しないと、メニューは自動的に消えます。その場合、(MENU) ボタンを押すと、消える前の状態のメニューが表示できます。
● メニューが自動的に消えるまでの時間は変更することができます (▶ 65ページ)。
● インターレース信号の動画を映しているときにメニューを表示すると、画面が乱れる場合があります。

項目の調整／設定方法

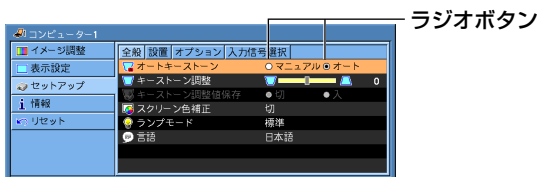
●調整項目の場合



- 1 (←/→) ボタンを押して、調整する。

●ラジオボタンを選ぶ

複数の選択肢から1つ「」を選びます。



- 1 (←/→) ボタンを押して、設定したい値に「」を移動する。

●ポップアップメニュー項目の場合

項目名の右側に「▶」が表示されている場合は、さらにポップアップメニューが表示されます。



- 1 右側に「▶」が表示されている項目にカーソルを合せ、(OK) ボタンまたは (→) ボタンを押す。
ポップアップメニューが表示されます。
- 2 ポップアップメニューの項目を調整／設定する。
- 3 (BACK) ボタンを押す。
もとのメニューに戻ります。

●ページタブの場合

[セットアップ]と [情報]のサブメニューには、ページタブが表示されます。



1 (◀/▶) ボタンを押して、ページを切り替える。

サブメニューの項目も切り替わります。

5-2. オンスクリーンメニュー一覽

は、各項目の工場出荷時の値を表しています。

メインメニュー項目	サブメニュー項目	選択項目		参照ページ	
イメージ調整	イメージモード設定	1:スタンダード/2:プレゼンテーション/ 3:シネマ/4:ビデオ/5: sRGB		56	
	詳細設定	全般	参照	スタンダード/プレゼンテーション/ シネマ/ビデオ/sRGB	57
			ガンマ	ダイナミック/ナチュラル/ソフト	57
			色温度	超低/低/中/高	57
		ホワイトバランス	明るさ赤/明るさ緑/明るさ青 コントラスト赤/コントラスト緑/コントラスト青		57
	明るさ			58	
	コントラスト				
	シャープネス				
	色の濃さ				
	色合い				
リセット					
表示設定	アスペクト	標準/ワイドズーム/シネマ/リアル		59	
	シネマポジション			60	
	水平位置			60	
	垂直位置			60	
	クロック周波数			61	
	トラッキング			61	
	ノイズリダクション	切/弱/強		61	
	セットアップ	全般	オートキーストーン	マニュアル/オート	62
キーストーン調整				62	
キーストーン調整値保存			切/入	62	
スクリーン色補正			切/黒板/黒板(グレー)/ライトイエロー/ ライトグリーン/ライトブルー/スカイブルー/ ライトローズ/ピンク	62	
ランプモード		標準/静音		62	
言語		English, Deutsch, Français, Italiano, Español, Svenska, 日本語, Dansk, Português, Čeština, Magyar, Polski, Nederlands, Suomi, Norsk, Türkçe, Русский, العربية, Ελληνικά, 中文, 한국어		63	
設置		反転表示	なし/リア・天吊り/リア/天吊り		63
		通信速度	4800bps/9600bps/19200bps		64
		キーロック	切/入		64
		パスワード	切/入		65
		表示色	カラー/モノクロ		65
		表示時間	マニュアル/5秒/15秒/45秒		65
		無信号時画面	青/黒/Canonロゴ		65

オプション	オフタイマー	切/0:30/1:00/2:00/4:00/8:00/12:00/16:00	65
	オートPC	切/標準/ファイン	66
	ダイレクトパワーオン	切/入	66
	パワーマネージメント	切/0:05/0:10/0:20/0:30	66
	ファンモード	オート/高速	66
	デインターレース	切/入	67
	電子音	切/入	67
入力信号選択	コンピューター1	RGB/COMPONENT/RGB/COMPONENT/SCART	67
	コンピューター2	RGB/COMPONENT/RGB/COMPONENT	
	VIDEO	オート/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM	
	S-VIDEO	オート/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM	
情報	使用時間	ランプ残り時間/ランプカウンター/フィルターカウンター/本体使用時間	68
	入力信号	信号番号/水平周波数/垂直周波数/入力信号/ビデオ標準/同期形態/同期極性/走査方式	
	Version	Firmware/Data	
リセット	表示中の信号		69
	全データ		69
	ランプカウンター		69
	フィルターカウンター		69

5-3. イメージ調整



イメージモード設定

投写した映像に最適な設定を選びます。

鮮やかな色調にしたり、淡い色調にしたり、ガンマ(階調再現性)を設定できます。また、お好みの色調およびガンマにするための細かな設定ができ、設定値を登録できます。

1:スタンダード	オリジナルに近い画質で投写します。 白の色味を重視した画質になります。
2:プレゼンテーション	プレゼンテーションに適した画質で投写します。 明るく明暗の差がはっきりした画質になります。
3:シネマ	動画に適した画質で投写します。 階調表現を重視した画質になります。
4:ビデオ	テレビ番組や一般的な映像ソースを投写するときに適した画質になります。
5:sRGB	sRGB対応のデジタルカメラの画像などに適した画質で投写します。



- 「sRGB」は、機器間の色再現の違いを統一するために、コンピューターやモニター、スキャナー、プリンターなどの色空間を規定・統一した国際標準規格です。1996年にHewlett-Packard社とMicrosoft社が策定し、1999年にIECの国際規格となりました。

詳細設定

お客様のお好みの設定にします。

設定値を登録するには、イメージモード設定の項目1~5のいずれかを選び、[詳細設定]にカーソルを合わせ、**(OK)** ボタンを押します。



●全般



参照

[詳細設定]のもとにする設定をスタンダード、プレゼンテーション、シネマ、ビデオ、sRGBの中から選びます。

ガンマ

映像の階調を選びます。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。

ダイナミック	メリハリのある映像設定です。
ナチュラル	標準的な設定です。
ソフト	信号の暗い部分が鮮明になります。

色温度

色 (R, G, B) のバランスを調整して色再現性を最良にします。

超低 ↑ 低 中 高 ↓	色温度が低くなり、赤みがかった白になります。 色温度が高くなり、青みがかった白になります。
-----------------------	--

注意

- [参照] で「スタンダード」および「プレゼンテーション」を選ぶと、「色温度」は変更できません。

●ホワイトバランス



信号の白レベルと黒レベルを調整して色再現性を最良にします。

明るさ 赤	画像の黒色を調整します。
明るさ 緑	
明るさ 青	
コントラスト 赤	画像の白色を調整します。
コントラスト 緑	
コントラスト 青	

● 明るさ／コントラスト／シャープネス／色の濃さ／色合い

スクリーンに投写している映像の調整を行います。

明るさ	映像を明るくしたり、暗くします。
コントラスト	映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。
シャープネス	映像をくっきりしたり、やわらかくします。
色の濃さ	色を濃くしたり、淡くします。
色合い	赤みがかかった映像にしたり、緑がかかった映像にします。



● 各調整項目は入力信号によって調整できない場合があります。

入力信号	明るさ	コントラスト	シャープネス	色の濃さ	色合い
RGB (コンピューター)	○	○	×	×	×
コンポーネント	○	○	○	○	○
ビデオ、S-ビデオ	○	○	○	○	○

(○：調整可、×：調整不可)

● リセット

「映像調整」の調整および設定を工場出荷状態に戻します。

ただし、[イメージモード設定]の番号、およびその[詳細設定]内の[参照]はリセットされません。

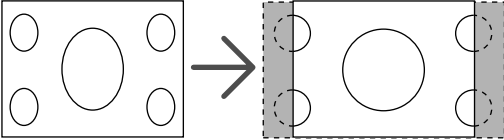
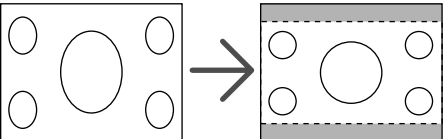
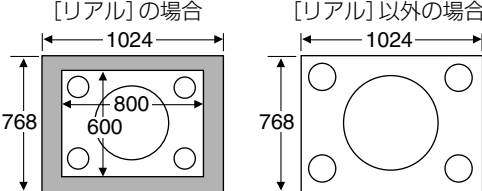
現在選ばれていない[イメージモード設定]の[詳細設定]もリセットされません。

5-4. 表示設定



アスペクト

画面の縦横の比率、およびRGB信号を投写するときの表示解像度を選びます。

標準	通常の画面サイズです。4：3の入力信号を4：3の画面サイズで映しします。
ワイドズーム	16：9のスクイーズ信号入力時、左右に引き伸ばして4：3の画面サイズで映します。そのため、左右の両端は表示されません。  スクイーズ
シネマ	16：9のスクイーズ信号入力時、垂直方向を圧縮して16：9の画面サイズで映します。  スクイーズ なお、[シネマポジション]で表示領域の垂直位置を調整できます。 (▶次ページ)
リアル	RGB信号を入力機器の解像度のまま投写します。 [リアル]以外を選んでいる場合、RGB信号は本機の解像度(1024×768ドット)に自動的に拡大/縮小して投写します。 例：入力信号が800×600ドットの場合  注意 ● 次のような場合は[リアル]を選ばません。 ・ RGB以外の信号を選んでいるとき ・ 本機の画素数(1024×768ドット)より上の解像度(SXGAなど)の信号を表示しているとき

注意

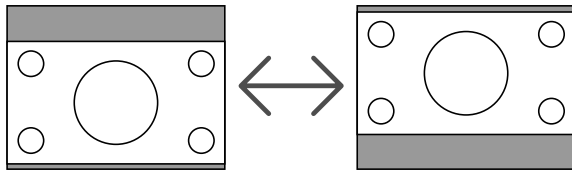
- 営利目的または公衆に視聴させることを目的として、本機を使って映像を投写する場合、[アスペクト]の画面サイズ切り替え機能を使って画面の圧縮や引き伸ばしを行うと、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害するおそれがあります。

参考

- ビデオ映像の標準アスペクト比4：3より横長の映像を、「レターボックス」と呼びます。映画フィルムのピスタサイズ1.85：1やシネマスコープ2.35：1のアスペクト比があります。
- アスペクト比16：9の映像を横方向にスクイーズ(圧縮)して4：3にした映像を、「スクイーズ」と呼びます。

シネマポジション

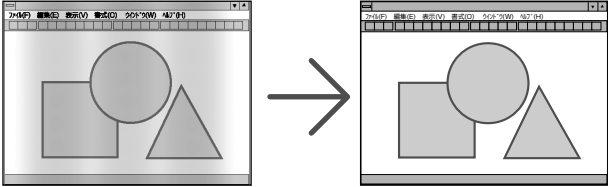
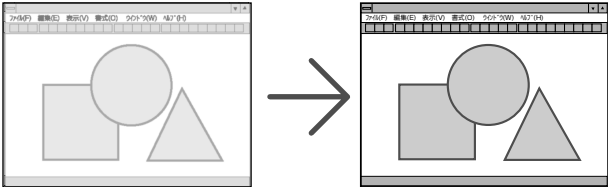
[アスペクト]で[シネマ]を選んでいるとき、表示領域の垂直位置を調整します。



水平位置・垂直位置・クロック周波数・トラッキング

RGB信号の表示位置と画素のずれの調整を手動で行います。

<p>水平位置</p>	<p>画面を水平方向に移動します。</p>
<p>垂直位置</p>	<p>画面を垂直方向に移動します。</p>

<p>クロック周波数</p>	<p>画面の明るさが一定になる（明暗の縦帯が出なくなる）ように調整します。</p> 
<p>トラッキング</p>	<p>画面の色ずれ、ちらつきが最小になるように調整します。</p> 

注意

- [クロック周波数]、[トラッキング]を調整中に画面が乱れることがありますが故障ではありません。

参考

- コンポーネント信号のときは、[水平位置]と[垂直位置]が調整できます。

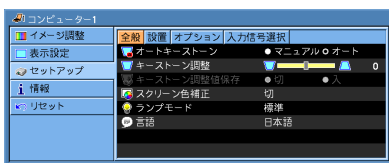
ノイズリダクション

RGB信号とコンポーネント信号の映像のざらつきやジッター(文字などの微妙な揺れ)を低減させます。

工場出荷状態は、あらかじめ信号ごとに適した状態に設定されています。信号によって、映像のざらつきやジッターが気になる場合に設定します。

5-5. セットアップ

全般



●オートキーストーン

オートキーストーンを行います。

オートキーストーンを「オート」に設定した場合、[キーストーン調整値保存] は使用できません。

マニュアル	オートキーストーンを行いません。キーストーン調整を手動で行うときは、次の [キーストーン調整] のメニュー項目で行います。
オート	オートキーストーンを行います。

●キーストーン調整

画面の台形歪みを調整します (▶ 38ページ)。

●キーストーン調整値保存

[キーストーン調整] で調整した調整値を保存します。電源を切っても調整値は失われません。

切	次に本機の電源を入れたときに、調整値を工場出荷状態に戻します。
入	本機の電源が切れる際に、本体内部のメモリーに調整値を上書き保存します。

●スクリーン色補正

画像を投写する面がスクリーンではなく、部屋の壁などの場合、メニューから壁の色に近い項目を選ぶと、壁の色に適応した色合いに補正して投写できます。

●ランプモード

小さい画面サイズで映して画面が明るすぎるときや、暗い室内で映す場合、ランプモードを「静音」にし、ランプ寿命を延ばすことができます (▶ 68ページ)。

標準	ランプの輝度が100%になります。明るい画面になります。
静音	ランプの輝度が約80%になります。ランプ寿命が延びます。



- ランプモード「標準」で使用時、室温が高いことにより本機内部の温度が上昇すると、一時的に「静音」に切り替わることがあります。これは、本機の保護機能の一つで「冷却運転」と呼びます。
冷却運転になると、画面が少し暗くなり、メニュー画面の右上に「」アイコンが表示されます。また、LAMPランプが緑色で点灯します。
室温を下げたり、[ファンモード] (66ページ) を「高速」に設定したりすることにより、本機内部の温度が下がると、冷却運転は解除され、標準に戻ります。
冷却運転中は、[ランプモード] の設定を変更しても、状態は変わりません。

●言語

メニューに表示される言語を選びます。



- 言語は、[リセット] を行っても変更されません。

●設置



●反転表示

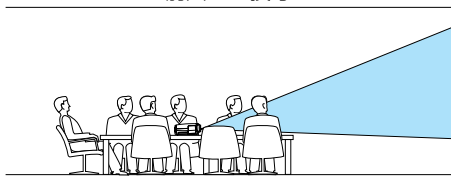
本機やスクリーンの設置状況に合わせて選んでください。

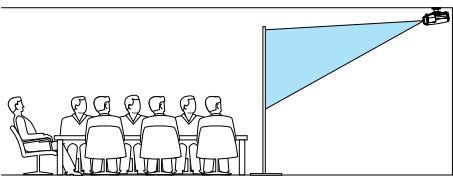
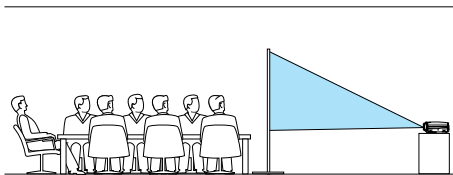
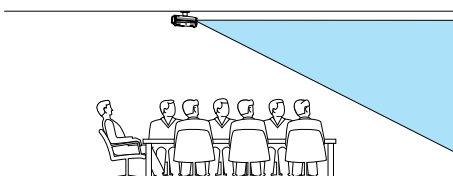


天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買い上げの販売店にご相談ください。
お客様による設置は絶対にしないでください。
落下してけがの原因となります。

なし

テーブルに設置してスクリーンの前面から投写



リア・天吊り	天井に設置してスクリーンの背面から投写 
リア	テーブルに設置してスクリーンの背面から投写 
天吊り	天井に設置してスクリーンの前面から投写 

●通信速度

サービスポート (SERVICE PORT) のデータ転送速度 (bps) を選びます。接続する機器と転送速度を合わせてください。



- 通信速度は、[リセット] を行っても変更されません。

●キーロック

プロジェクター本体にある操作ボタンを動作しないようにします。

切	操作パネルのボタンが働きます。
入	操作パネルのボタンが利かなくなります。



- 操作パネルのボタンがロックされていてもリモコンのボタンは動作します。
- 操作パネルのボタンがロックされているときに、本体の (BACK) ボタンを約10秒間押し続けると、ロックが解除されます (キーロックの設定が無効になります)。



- キーロック中は、メニュー画面右上に「🔒」アイコンが表示されます。

●パスワード

パスワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。パスワードを有効にすると、本機の電源を入れたときにパスワード設定入力画面が表示され、正しいパスワードを入力しなければ映像は投写されません。

パスワード設定のしかたは「4-5.パスワードを設定して無断使用を防止する」(▶47ページ)をご参照ください。

切	パスワードを無効にします。
オン	パスワードを有効にします。

注意

- パスワードは、[リセット]を行っても解除されません。

●表示色

本機のメニューをカラーで表示するか、モノクロで表示するかを選びます。

●表示時間

メニューを表示しているとき、次のボタン操作がない場合にメニューを自動的に閉じる時間を選びます。

●無信号時画面

入力信号がないときの背景色を選びます。

青	背景色が青色
黒	背景色が黒
Canonロゴ	背景にCanonロゴを表示

オプション



●オフタイマー

オフタイマーを設定しておく、本機の電源の切り忘れ防止になり、省エネになります。設定した時間後に本機の電源が切れます(スタンバイ状態になります)。

●オートPC

RGB信号の表示位置と画素のずれの調整を自動で行うか、手動で行うかを設定します。

切	表示位置と画素のずれを手動で調整できません (P.60ページ)。
標準	表示位置と画素調整を自動で行います。通常の設定です。
ファイン	細かい自動調整を行います。「標準」設定時よりも調整に時間がかかります。

注意

- 画像によっては、[オートPC]を有効にしていると正しく調整できない場合や、信号を切り替えたとき調整までに時間がかかる場合があります。このようなときは[オートPC]を「切」にし、手動で調整を行ってください。

●ダイレクトパワーオン

本機の電源プラグに電源が供給されると自動的に電源が入るように設定します。本機を制御卓などでコントロールする場合に使用します。

切	スタンバイ状態になります。
入	ダイレクトパワーオンが動作し電源が入ります。

注意

- ダイレクトパワーオンを有効にする場合は、本機の主電源スイッチを常に「I (入)」にしておいてください。

●パワーマネージメント

設定した時間以上信号入力がないと自動的に本機の電源が切れスタンバイ状態になります。

切	パワーマネージメント機能は働きません。
0:05/0:10/ 0:20/0:30	設定した時間 (5分/10分/20分/30分) 以上信号入力やボタン操作がないと自動的に本機の電源が切れスタンバイ状態になります。

●ファンモード

本機内部の温度を下げるための冷却ファンを、常に高速で回転させます。

オート	本機内部の温度センサーにより、適切な速度で回転します。
高速	常に高速で回転します。

注意

- 数日間連続して本機を使用する場合は、必ず「高速」に設定してください。

●デインターレース

ビデオやDVDなどインターレース信号の映像のちらつきを低減させます。



- 動画信号によっては、映像にギザギザが目立つ場合があります。
このようなときは [切] に設定してください。
- HDTV、RGB信号のときは選べません。
- 接続する機器によっては、選べない場合があります。

●電子音

電源の入/切や入力切り替えなどの操作をしたとき、また本機にエラーが発生したときなどに確認音を鳴らします。

●入力信号選択



RGB-IN/COMPONENT IN端子 (ANALOG IN-1またはANALOG IN-2)、ビデオ映像入力端子 (VIDEO IN)、S-ビデオ映像入力端子 (S-VIDEO IN) の信号モードを選びます。コンピューターで「RGB/COMPONENT」を選ぶと、RGB信号とコンポーネント信号の自動判別を行います。

自動判別ができないときは、本機に接続している出力機器の信号モードに合わせてください。

コンピューター1 コンピューター2	DVDプレーヤーなどのコンポーネント出力を、本機のRGB-IN/COMPONENT IN端子 (ANALOG IN-1またはANALOG IN-2) と専用ケーブルで接続する場合に選びます。
VIDEO S-VIDEO	NTSCやPALなど、国によってテレビジョンの映像信号方式が異なります。 ビデオ映像入力端子 (VIDEO IN) およびS-ビデオ映像入力端子 (S-VIDEO IN) の入力信号の設定ができます。

5-6. 情報



入力選択されている入力信号の詳細、ランプ使用時間（ランプカウンター）、本機の使用時間などを表示します。

- ・「使用時間」のページ：ランプの寿命時間、ランプとエアフィルターの使用時間、および本体使用時間の確認に使います。
- ・「入力信号」のページ：色が極端におかしかったり、画面が流れたり、映像が映らない場合、入力信号が本機に適しているかの確認に使います。「対応解像度一覧」（87ページ）もあわせてご参照ください。
- ・「Version」のページ：本機のファームウェアのバージョンなどの確認に使います。

参考

● ランプ残り時間／ランプカウンターの表示について

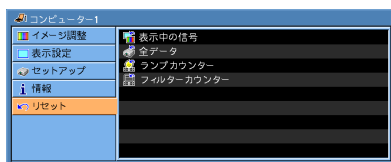
本機には静音機能があります。標準と静音ではランプの寿命が異なります。

[ランプカウンター] はランプの通算使用時間を示し、[ランプ残り時間] はランプの使用時間に対する残量をパーセントで表示しています。

- ・0%になると画面上に「ランプを交換してください。」のメッセージが表示されます（メッセージは、投写中も表示され続けます）。新しいランプと交換してください。交換のしかたは「6-4.ランプとエアフィルターの交換」（73ページ）をご参照ください。
- ・ランプ寿命に到達（ランプ残り時間0%）後、[ランプ残り時間] 表示は赤色の時間表示に変わります。このとき、[ランプ残り時間] 表示は「100 (H)」と表示され、そのあとランプを投写しただけ時間がマイナスされていきます。そして [ランプ残り時間] 表示が「0 (H)」になると、本機の電源が入らなくなります。

	ランプカウンター		ランプ残り時間
	標準のみ使用 (最小)	静音のみ使用 (最大)	
工場出荷時	0時間		100%
ランプ寿命	2000時間	3000時間	0%

5-7. リセット



表示中の信号

表示中の信号について、調整した調整値を工場出荷状態に戻します。
工場出荷状態に戻す処理には多少時間がかかります。

【リセットされるデータ】

[イメージモード設定]・[明るさ]・[コントラスト]・[シャープネス]・[色の濃さ]・[色合い]・
[アスペクト]・[水平位置]・[垂直位置]・[クロック周波数]・[トラッキング]・
[ノイズリダクション]

全データ

すべての調整・設定値を工場出荷状態に戻します。
工場出荷状態に戻す処理には多少時間がかかります。

【リセットされないデータ】

[言語]・[通信速度]・[パスワード]・[ランプ残り時間]・[ランプカウンター]・
[フィルターカウンター]・[本体使用時間]

ランプカウンター

ランプ交換を行ったときに[ランプ残り時間]と[ランプカウンター]をリセットします。

フィルターカウンター

エアフィルターの清掃または交換を行ったときに[フィルターカウンター]をクリアします。

6. 本体のお手入れ／ランプの交換

6-1. エアフィルターの清掃

吸気口のエアフィルターはプロジェクター内部をほこりや汚れから守っています。エアフィルターにほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。設置場所にもよりますが100時間を目安に清掃をしてください。

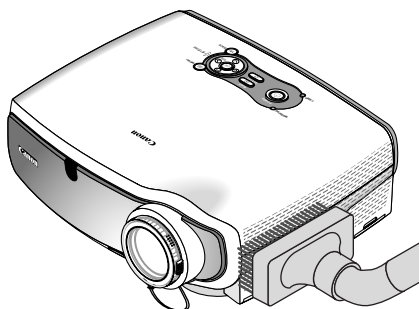
- 100時間を超えると、電源を入れるたびに「エアフィルターを清掃してください」というメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、エアフィルターの清掃を行い、「フィルターカウンター」をクリアしてください(● 69ページ)。
- 「エアフィルターを清掃してください」のメッセージは、本体またはリモコンのいずれかのボタンを押すと消えます。

1 エアフィルターを清掃する。

エアフィルターは本体右側面に2個あります。電源を切り電源プラグをコンセントから抜きます。掃除機で吸気口越しにエアフィルターの清掃を行ってください(フィルターカバーを外す必要はありません)。

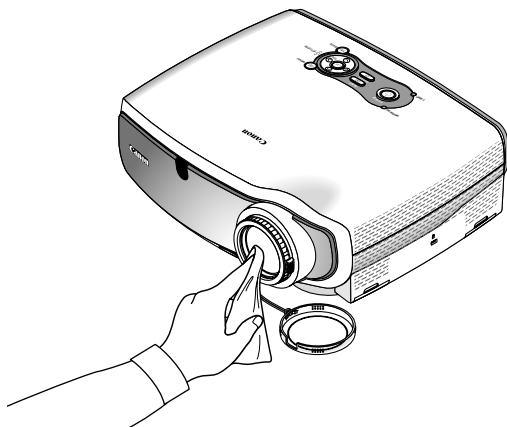
2 フィルターカウンターをクリアする。

メニューの [リセット] の「フィルターカウンター」を選んでください(● 69ページ)。



6-2. レンズの清掃

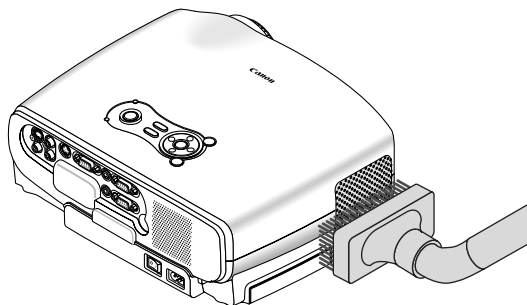
カメラのレンズと同じ方法で(市販のカメラ用ブローワーやメガネ用クリーニングペーパーを使って)クリーニングしてください。その際レンズを傷つけないようにご注意ください。



6-3. キャビネットの清掃

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 毛羽立ちの少ない柔らかい乾いた布でふいてください。
汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書に従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風孔やスピーカー部のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプターを使用して吸い取ってください。なお、アダプターを付けずに直接当てたり、ノズルアダプターを使用することは避けてください。



側面および前面の通風孔と、背面のスピーカー部のほこりを吸い取ります。

- 通風孔にほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。設置環境にもよりますが100時間を目安に清掃をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の清掃については、お買い上げの販売店またはキヤノンお客様相談センターにお問い合わせください。



● キャビネットやレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。

また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

6-4. ランプとエアフィルターの交換

光源に使われているランプの使用時間が2000時間（標準モードでのみ使用時）を超えるとLAMPランプが赤く点滅し、メッセージ「ランプを交換してください。」が画面上に表示されます。

この場合はランプの交換時期ですので、新しいランプと交換してください。

なお、静音で使用している割合が多いとランプ寿命が伸びます。したがってこの場合ランプ使用時間は延びることになります。現在のランプ使用残り時間の目安は68ページをご参照ください。

- LAMPランプが点滅する前にランプが切れることがあります。
- 交換ランプは販売店で求めください。ご注文の際は交換ランプ製品形名LV-LP26とご指定ください。
- 交換ランプにはエアフィルターが付属していますので、ランプを交換したあとにエアフィルターも交換してください。
- 指定のねじ以外は外さないでください。
- ランプには、ランプ保護のためガラスが付いています。誤って割らないよう取り扱いには注意してください。
また、ガラス表面には触れないでください。輝度にかかわる性能劣化の原因となります。
- メッセージが表示されてもなお使用を続けると、ランプが切れることがあります。ランプが切れるときには、大きな音をともなって破裂し、ランプの破片がランプ内に散らばります。この場合は、お買い上げの販売店またはキヤノンお客様相談センターに交換を依頼してください。
- 本機を天吊りで設置した状態でランプ交換を行う場合は、本機の下部に人が入らないように注意してください。ランプが破裂している場合に、ランプの破片が飛散するおそれがあります。
- ランプ寿命に到達後100時間を超えて使用すると、LAMPランプが赤く点灯するとともにスタンバイ状態になり電源が入らなくなります。あらかじめ交換ランプを用意しておいてください。



注意

ランプの交換は、電源を切りしばらく待って、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、約60分おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。

ランプの交換

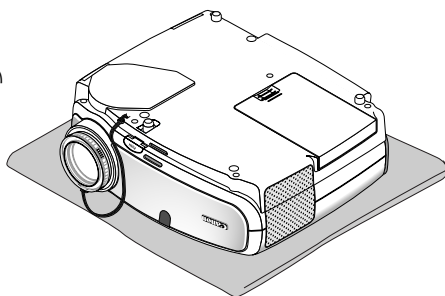
重要

- ランプ部は高電圧/高温になることから、容易に露出しないよう、ランプカバーを外し難くしておりますので、説明文を見ながら操作してください。

準備：プラスドライバーを用意します。

1 本機を裏返しにする。

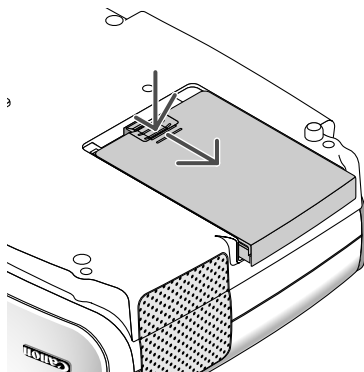
傷つかないように、やわらかい布などを敷いた上に静かに置いてください。



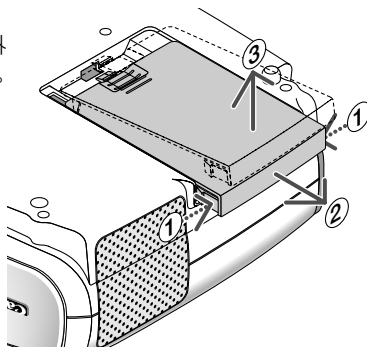
2 ランプカバーを外す。

① ランプカバーを下方へ押しながら手前に引く。

- ・途中まで(1cmほど)引き出します。ここではランプカバーは外れませんが無理に引っ張らないでください。



② ランプカバーの両端のつめを軽く押しながら(右図①) ゆっくりスライドして(右図②) つめが外に出てから、上に引き上げてください(右図③)。



3 ランプを外す。

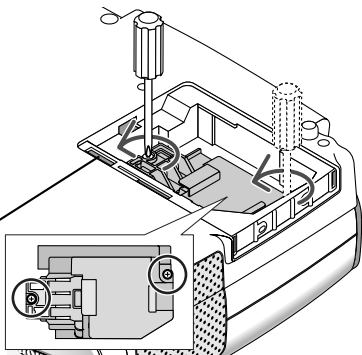
① ランプ固定のねじ（2箇所）を左に空転するまでゆるめる。

- ねじは外れません。
- 本機には安全スイッチが付いています。安全スイッチには触れないでください。

安全スイッチ

注意

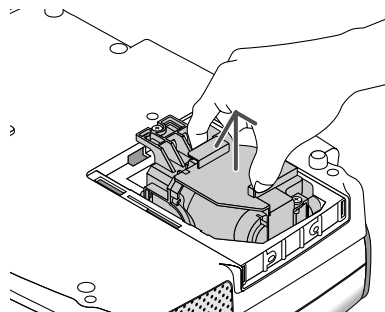
• ランプ固定ねじ（2箇所）以外のねじは絶対に外さないでください。



② ランプのつまみを指ではさんで持ち上げる。

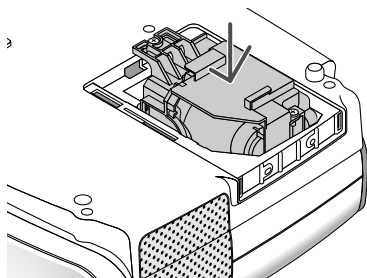
注意

- 高温に注意してください。ランプに触れるときは、電源を切りしばらく待って、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、約60分おいてください。



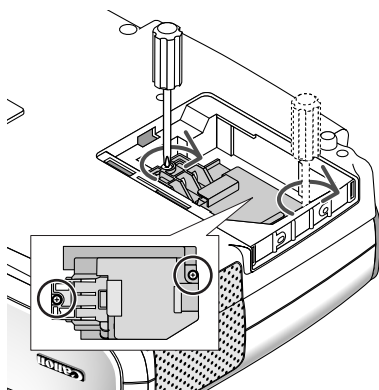
4 新しいランプを取り付ける。

① ランプを静かに入れる。



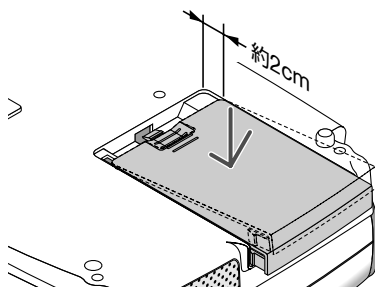
② ランプ固定のねじ（2箇所）を右に回してしめる。

- ねじは確実にしめてください。



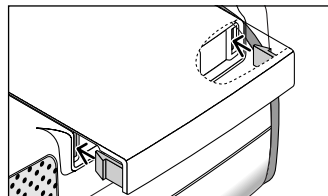
5 ランプカバーを取り付ける。

- 1 右の図のように、約2cmの間隔をあけてランプカバーを取り付ける。

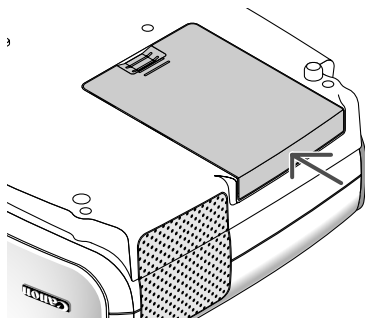


- 2 ランプカバーを閉める。

- ランプカバー両端のつめが、穴に確実に入るようにしてください。



- 「カチッ」と音がしてランプカバーが固定されるまで押します。



- 6 本機をもとの状態に戻し、電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる。

- 7 ランプ残り時間とランプカウンターをリセットする。

メニューの[リセット]の[ランプカウンター]を選んでください(▶69ページ)。

これで、ランプ交換が終わりました。

続いてエアフィルターを交換してください。



- ランプ寿命(▶68ページ)に到達後100時間を超えて使用すると、電源が入らなくなります。その場合は、スタンバイ状態でリモコンの(INFO)ボタンを10秒以上押し続けることで、ランプ残り時間とランプカウンターをリセットできます。リセットされたかどうかは、LAMPランプが消灯することで確認できます。

エアフィルターの交換

ランプの交換と同時にエアフィルターの交換も行ってください。

重要

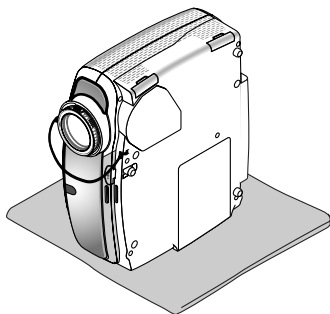
- エアフィルターは交換ランプに同梱されています。
- エアフィルターを交換するときは、プロジェクター本体のほこりをよくふき取ってから行ってください。
- プロジェクターは精密機器ですので、内部にほこりが入らないようにご注意ください。
- エアフィルターは水洗いしないでください。目づまりの原因となります。

準備：先にランプの交換を行ってください(▶ 74ページ)。

1 エアフィルター部分が上になるよう、本体左側面を下にして本体を立てる。

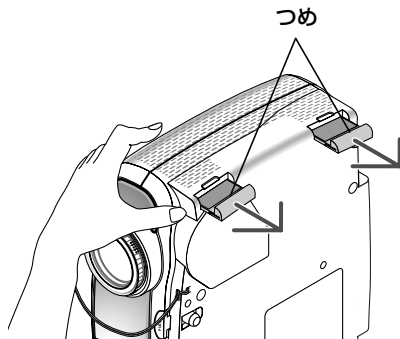
傷を付けないように、柔らかい布などを敷いた上に静かに立ててください。

また、本体が倒れないよう手でしっかりと固定してください。

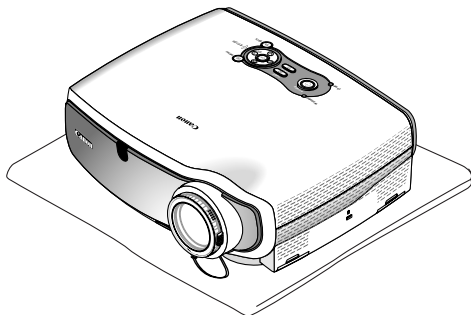


2 つめに指をかけ、矢印の方向にフィルターカバーを引き抜いて外す。

エアフィルターは2個あります。

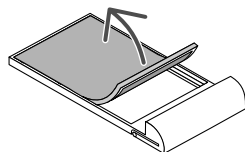


3 本体を水平位置に戻す。



4 エアフィルターを交換する。

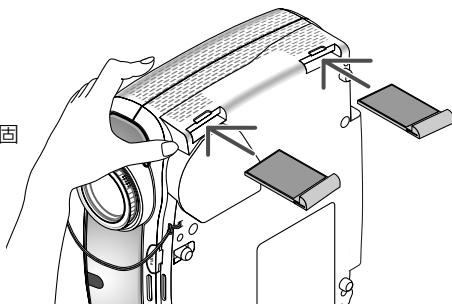
- 1 エアフィルターを外して、フィルターカバーを清掃する。
- 2 新しいエアフィルターの両面テープをはがし、フィルターカバーに取り付ける。



5 もう一度、本体左側面を下にして本体を立てる。

6 フィルターカバーを取り付ける。

- ・「カチッ」と音がしてフィルターカバーが固定されるまで差し込みます。



7 本体を水平位置に戻す。

8 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる。

9 フィルターカウンターをクリアする。

- メニューの[リセット]の「フィルターカウンター」を選んでください(▶69ページ)。

7. 付 録

困ったときには

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときはお買い上げの販売店またはキヤノンお客様相談センターにお問い合わせください。

現象と確認事項

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	29
	主電源スイッチは「I (入)」になっていますか。	31
	キーロック中ではありませんか。 キーロック中は、本体の操作ボタンはロックされて利きません、リモコンを使えば操作できます。	64
	ランプカバーが正しく取り付けられていますか。	76
	ランプ寿命を超えて使用していませんか。 新しいランプと交換してください。交換後、本機をスタンバイ状態にして、リモコンの (INFO) ボタンを10秒以上押し続けてください。 本機内部で管理しているランプカウンター の値がリセットされ電源が入るようになります。	68
	内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。	84
使用中に電源が切れる	オンスクリーンメニューの「パワーマネージメント」を「入 (時間を選んでいる)」にしていますか。	66
映像が出ない	接続している入力を選んでいますか。 本体またはリモコンの入力信号選択ボタンを再度押してください。	33
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	24~28
	[イメージ調整] の明るさ、コントラストが最小になっていませんか。	58
	DVDプレーヤーをコンピューター映像入力端子と接続しているとき、RGB/COMPONENTを選んでいませんか。	67
	RGB (コンピューター) 入力の場合、標準信号以外の信号が入力されていませんか。	87
	RGB (コンピューター) 入力の場合、画面調整を正しく行っていますか。	40
	コンピューターの画面がうまく投写できない場合は、81ページをご参照ください。	—
	各設定が正しく調整・設定されていますか。	54,55
	それでも解決しない場合は、[リセット] の [全データ] を行ってみてください。	69

	パスワードが有効になっている場合は、本機の電源を入れたときに、あらかじめ登録しておいたパスワードを入力しないと映像は投写されません。	48
	ランプの消灯直後に電源を入れたときや、ランプの温度が高いときは、冷却のためにファンのみが回転し、映像が出るまでに時間がかかります。しばらくお待ちください。	—
映像が歪む	正しく設置されていますか。	34
	台形状に歪む場合はキーストーン調整を行ってください。	36,38
映像がぼやける	レンズのフォーカスは合っていますか。	37
	投写画面と本機が正しい角度で設置されていますか。	22
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。	85,86
	レンズなどが結露していませんか。 気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れるとレンズや内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	—
映像が突然暗くなった	室温が高いため、冷却運転になっていませんか。	63
水平または垂直方向に映像がずれて正常に表示されない	RGB (コンピューター) 入力の場合、水平位置、垂直位置を正しく調整しましたか。	60
	RGB (コンピューター) 入力の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 コンピューターの解像度を確認してください。	87
RGB (コンピューター) 入力で文字がちらついたり色がずれている	メニューの [オートPC] を「標準」または「ファイン」に設定してください。 [オートPC] を「切」に設定している場合は、[クロック周波数] と [トラッキング] を調整してください。	66
リモコンで操作できない	リモコンのリモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。	20
	リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	20
	リモコンと本体のリモコン受光部に明るい光が当たっているか、途中で障害物はありませんか。	20
	リモコンの有効範囲 (7m) を超えていませんか。	20
	本機のリモコンを使って、コンピューターのマウス操作を行う場合は、付属のマウスレシーバーをコンピューターに接続してください。	45
POWER/WARNING/LAMP ランプが点滅する	POWER/WARNING/LAMP ランプ表示一覧をご参照ください。	83
電源を入れるたびに「エアフィルターを清掃してください。」のメッセージが表示される。	エアフィルターを清掃または交換して、フィルターカウンターをクリアしてください。 本体またはリモコンのいずれかのボタンを押してください。	70,77

● コンピューターの画面がうまく投写できない場合

コンピューターを接続して投写する際、うまく投写できない場合は、次のことをご確認ください。

● コンピューターの起動のタイミング

コンピューターと本機を接続したあとにコンピューターを起動してください。

特にノート型コンピューターの場合、接続してからコンピューターを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。



参考

- 本機のメニューを表示して、[情報]の[水平周波数]を確認してください。
水平周波数が表示されていないときは、コンピューターから外部出力信号が出力されていません(● 68ページ)。

● コンピューターの起動後に操作が必要な場合

ノート型コンピューターの場合、起動したあとに外部出力信号を出力させるため、さらに操作が必要な場合があります(ノート型コンピューター自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません)。

参考

- Windowsのノート型コンピューターの場合は、ファンクションキーを使って「外部」に切り替えます。
 - **[Fn]**キーを押したまま( / )などの絵表示や(LCD/VGA)の表示があるファンクションキーを押すと切り替わります。しばらく(プロジェクターが認識する時間)すると投写されます。

【コンピューターメーカーとキー操作の例】

[Fn] + [F3]	NEC、Panasonic、GATEWAY、SOTEC
[Fn] + [F4]	HP
[Fn] + [F5]	TOSHIBA、SHARP、MITSUBISHI
[Fn] + [F7]	SONY、IBM、HITACHI
[Fn] + [F8]	DELL、EPSON
[Fn] + [F10]	FUJITSU

通常、キーを押すごとに「外部出力」→「コンピューター画面と外部の同時出力」→「コンピューター画面」…とくり返します。

表に記載されていないメーカーのノート型コンピューターをお使いの場合は、ノート型コンピューターのヘルプ、または使用説明書をご参照ください。

●ノート型コンピューターの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノート型コンピューターの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。

多くの場合、ノート型コンピューターの制限（コンピューター自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合は、標準規格に合った信号を出力できない）によることが考えられます。このときの外部出力信号が、本機で対応可能な信号の範囲から大きく外れている場合、調整を行っても正常に表示されないことがあります。

上記の場合は、ノート型コンピューターの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする（液晶画面を閉じると、このモードになる場合が多い）操作を行うと、外部出力信号が標準規格に合った信号になることがあります。

●Macintoshを起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合

Macintosh用信号アダプター（市販品）を使って接続したとき、ディップスイッチの設定を、Macintoshおよび本機の対応外の表示モードにした場合、表示が乱れたり、何も表示できなくなることがあります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを13インチ固定モードに設定し、Macintoshを再起動してください。そのあと表示可能なモードに変更して、もう一度再起動してください。

●PowerBookと本機を同時に表示させる場合

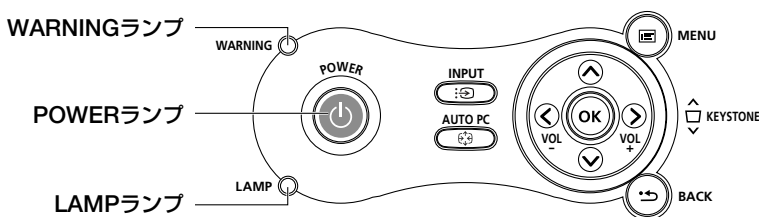
PowerBookディスプレイの「ビデオミラーリング」を「切」にしないと外部出力を1024×768ドットに設定できないことがあります。

●Macintoshの投写画面からフォルダなどが切れている場合

Macintoshに接続していたディスプレイを本機より高い解像度で使用していた場合、本機で投写した画面では、画面の隅にあったアイコンなどが画面からはみ出したり消えたりすることがあります。このような場合は、MacintoshのFinder画面で「option」キーを押した状態で「表示」→「整頓する」を選んでください。はみ出したり消えたりしたアイコンが画面内に移動します。

POWER/WARNING/LAMPランプ表示一覧

操作パネルの3つのランプが点灯、点滅しているときは、次の説明を確認してください。



●POWERランプ

ランプ表示		本機の状態	行ってください
消灯		主電源切り	—
点滅	緑色 (0.5秒点灯/0.5秒消灯)	電源入り準備中	しばらくお待ちください。
	緑色 (2.5秒点灯/0.5秒消灯)	オフタイマー動作中	—
	オレンジ色	本体冷却中	しばらくお待ちください。
点灯	緑色	電源入り状態	—
	オレンジ色	スタンバイ状態	—

●WARNINGランプ

ランプ表示		本機の状態	行ってください
消灯		異常なし	—
点滅	赤色 (1回周期)	カバー異常	ランプカバーが正しく取り付けられていません。正しく取り付けてください(●76ページ)。
	赤色 (2回周期)	温度異常	温度プロテクターが動作しています。室温が高い場合は、本機を涼しい場所へ移動してください(●84ページ)。
	赤色 (4回周期)	ファン異常	冷却ファンの回転が停止しています。販売店へ修理を依頼してください。
	赤色 (6回周期)	ランプ不点灯	ランプが点灯しません。60秒以上待つて再度電源を入れてください。それでも点灯しない場合は販売店にご相談ください。
	緑色	ランプ再点灯処理中	ランプ再点灯処理中(本体冷却中)です。しばらくお待ちください。
点灯	オレンジ色	キーロック中にボタンを押したとき	キーロック中です。操作する場合は、設定を解除する必要があります(●64ページ)。

●LAMPランプ

ランプ表示		本機の状態	行ってください
消灯		異常なし	—
点滅	赤色	ランプ交換猶予時間中	ランプ残り時間が0%になり、ランプ交換の時間猶予（100時間）中です。すみやかにランプを交換してください（▶73ページ）。
点灯	赤色	ランプ使用時間超過	ランプ使用時間を超過しています。ランプを交換するまで本機の電源は入りません（▶73ページ）
	緑色	静音	—

●温度プロテクターが働いたときは

本機内部の温度が異常に高くなると、ランプが消灯し、WARNINGランプが点滅します（2回点滅の繰り返し）。

このようなときは、次のことを行ってください。

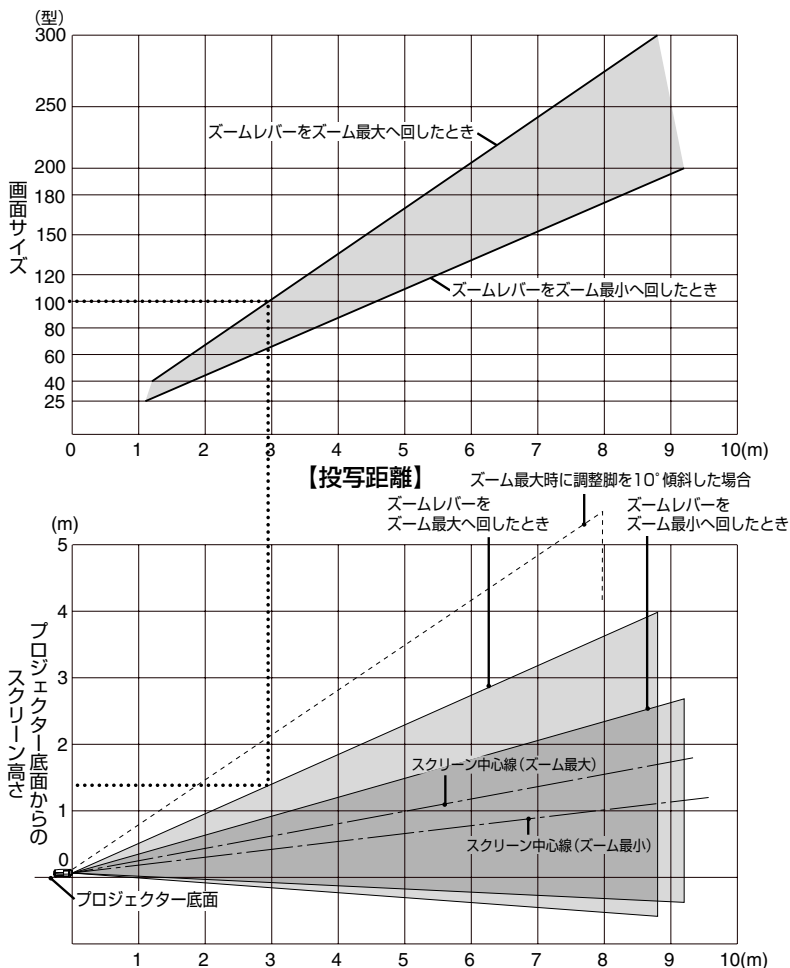
- ・冷却ファンの回転が終了したら、主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
- ・通風孔にほこりがたまっていたら、清掃してください（▶70ページ）。
- ・本機内部の温度が下がるまで、約60分間そのままにしてください。

投写距離と画面サイズ

この場所に設置するとどのくらいの画面サイズになるか、どのくらいのスクリーンを用意すればいいのか、また、目的の大きさで映すにはどのくらいの距離が必要かを知りたいときの目安にしてください。

投写距離

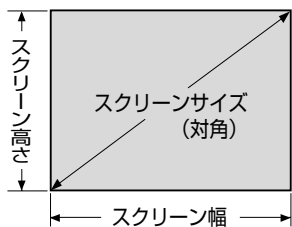
フォーカス(焦点)の合う投写距離は、レンズ前面から1.1m(25型の場合)~8.8m(300型の場合)です。この範囲で設置してください。



【表のみかた】

100型スクリーンにズーム最大で映すには表より、3m付近に設置することになります。また、下の表はプロジェクター底面からスクリーンの上端までが約1.4m必要となりますので、プロジェクターを置いた台から天井までの高さやスクリーンを設置する高さやスクリーンを確保できるかの目安にお使いください。(図はプロジェクターを水平に調整したとき)調整脚により上へ最大約10°上げることができます。

画面サイズと寸法表



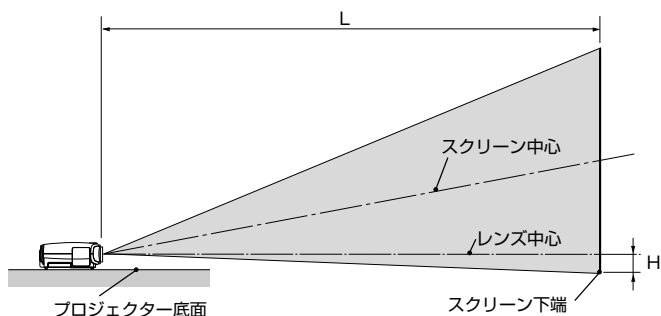
サイズ (型)	スクリーン幅 (cm)	スクリーンの高さ (cm)
25	51	38
30	61	46
40	81	61
60	122	91
80	163	122
100	203	152
120	244	183
150	305	229
180	366	274
200	406	305
250	508	381
300	610	457

画面サイズと投写距離の例

水平投写位置……レンズを中心に左右均等

垂直投写位置……(下表参照)

画面サイズ (型)	投写距離 L (m)		寸法 H (cm)
	ズーム最大時	ズーム最小時	
25	—	1.1	5
30	—	1.3	6
40	1.2	1.8	9
60	1.7	2.7	13
80	2.3	3.6	17
100	2.9	4.6	22
120	3.5	5.5	26
150	4.4	6.9	32
180	5.3	8.3	39
200	5.9	9.2	43
250	7.3	—	54
300	8.8	—	65



参考

- 設計値のため、±5%の誤差があります。

対応解像度一覧

機種		解像度	走査周波数		対応状況	
			水平 (kHz)	垂直 (Hz)		
ビデオ	NTSC/PAL60	—	15.734	60.0	◎	
	PAL/SECAM	—	15.625	50.0	◎	
IBM PC/AT互換機		640 × 350	37.9	85.1	◎	
		640 × 400	31.5	70.1	◎	
		640 × 400	37.9	85.1	◎	
		640 × 480	31.5	60.0	◎	
		640 × 480	37.9	72.8	◎	
		640 × 480	37.5	75.0	◎	
		640 × 480	43.3	85.0	◎	
		720 × 350	31.5	70.1	◎	
		720 × 400	39.4	87.9	◎	
		800 × 600	35.2	56.3	◎	
		800 × 600	37.9	60.3	◎	
		800 × 600	46.9	75.0	◎	
		800 × 600	48.1	72.2	◎	
		800 × 600	53.7	85.1	◎	
		1024 × 768	35.5	43.5i	◎	
		1024 × 768	48.4	60.0	◎	
		1024 × 768	56.5	70.1	◎	
		1024 × 768	60.0	75.0	◎	
		1024 × 768	68.7	85.0	◎	
		1152 × 864	67.5	75.0	○	
		1280 × 960	60.0	60.0	○	
		1280 × 960	85.9	85.0	○	
		1280 × 1024	64.0	60.0	○	
		1280 × 1024	80.0	75.0	○	
		1280 × 1024	91.2	85.0	○	
		1600 × 1200*	75.0	60.0	○	
1600 × 1200*	81.3	65.0	○			
1600 × 1200*	87.5	70.0	○			
1600 × 1200*	93.8	75.0	○			
Apple Macintosh®		640 × 480	35.0	66.7	◎	
		832 × 624	49.7	74.6	◎	
		1024 × 768	60.2	74.9	◎	
		1152 × 870	68.7	75.1	○	
HDTV		1125p (1080p)	1920 × 1080	67.5	60.0	○
		1125i (1080i)	1920 × 1080	28.1	50.0	○
			1920 × 1080	33.8	60.0	○
		750p (720p)	1280 × 720	45.0	60.0	○
SDTV		525i (480i)	—	15.7	59.9	◎
		525p (480p)	—	31.5	59.9	◎
		625i (576i)	—	15.6	50.0	◎
		625p (576p)	—	31.3	50.0	◎
DVD		YCbCr	—	15.7	60.0	◎
			—	15.6	60.0	◎
		progressive	—	31.3	50.0	◎
		—	31.5	59.9	◎	

- ・出荷時はその表示解像度／周波数の標準的な信号に合わせていますが、コンピューターの種類によっては調整が必要な場合があります。
- ・コンポジット同期信号などの場合は、正常に表示できない場合があります。

・圧縮表示の場合、文字や野線の太さなどが不均一になる場合があります。

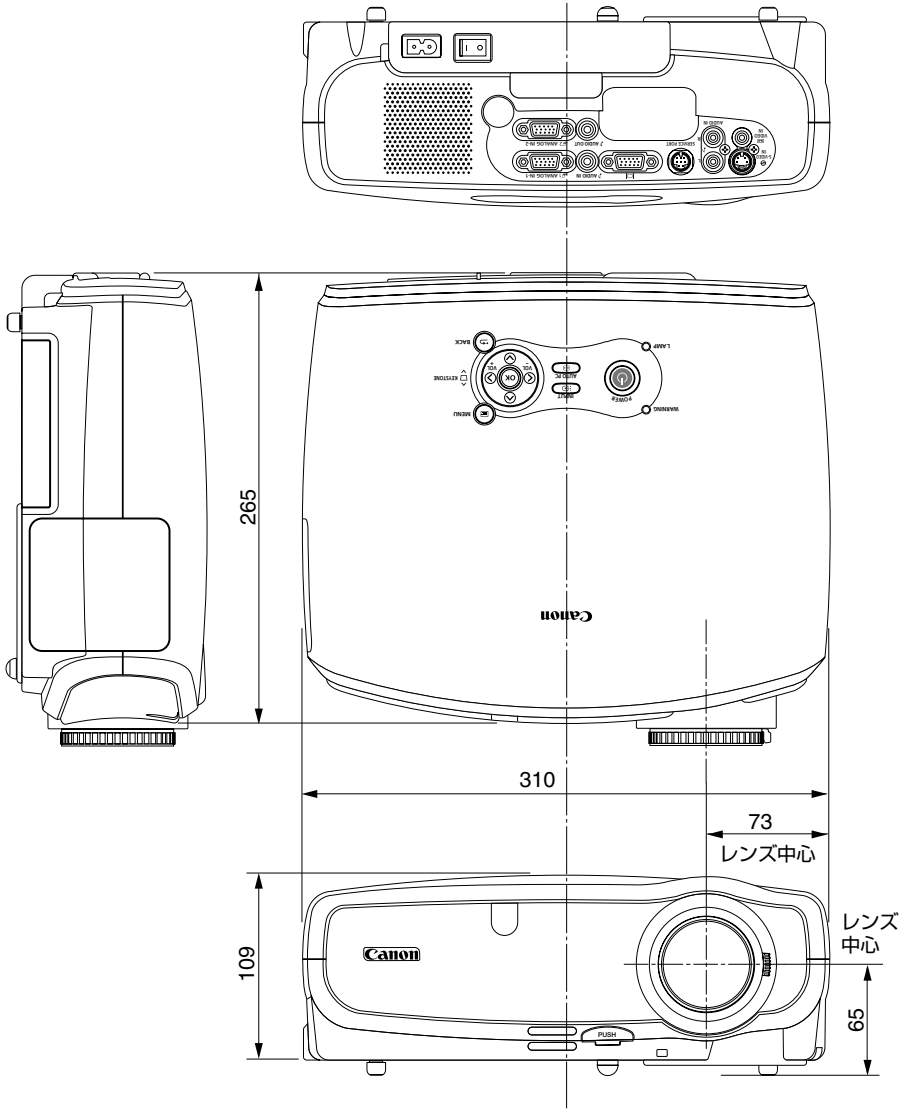
* U-XGAはセパレート信号のみ対応です。

◎：リアル表示

○：圧縮表示対応

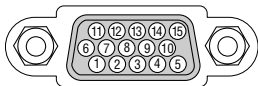
外観図

単位：mm



RGB-IN/COMPONENT IN端子のピン配列と信号名

各ピンの接続と信号レベル



信号レベル

ビデオ信号 : 0.7Vp-p (アナログ)

同期信号 : TTLレベル

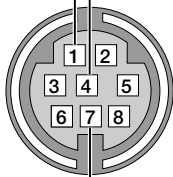
ピン番号	RGB信号 (アナログ)	YCbCr 信号
1	赤	Cr
2	緑またはシンクオングリーン	Y
3	青	Cb
4	接 地	
5	接 地	
6	赤 接 地	Cr 接 地
7	緑 接 地	Y 接 地
8	青 接 地	Cb 接 地
9	非接続	
10	同期信号 接 地	
11	SCART同期入力*1 *2	
12	Bi-directional DATA (SDA)*2	
13	水平またはコンポジット同期	
14	垂直同期	
15	Data Clock*2	

*1 欧州で使用されているSCARTケーブル用の同期入力です。

*2 RGB-IN1/COMPONENT IN端子 (ANALOG IN-1) のみ対応。

サービスポートのピン配列と制御コマンド

To TxD of PC ← → To GND of PC



To RxD of PC ←

通信方式

- ボーレート : 19200bps
- データ長 : 8ビット
- パリティビット : なし
- ストップビット : 1ビット
- 通信手順 : 全二重

参考

- 2、3、5、6、8ピンはプロジェクター内部で使用しています。

注意

- 長いケーブルを使用して通信できないときは、ボーレートを低くしてみてください。

制御コマンド

Function	Code Data							
	02H	00H	00H	00H	00H	02H		
POWER ON	02H	00H	00H	00H	00H	02H		
POWER OFF	02H	01H	00H	00H	00H	03H		
INPUT SELECT COMPUTER 1	02H	03H	00H	00H	02H	01H	01H	09H
INPUT SELECT COMPUTER 2	02H	03H	00H	00H	02H	01H	02H	0AH
INPUT SELECT VIDEO	02H	03H	00H	00H	02H	01H	06H	0EH
INPUT SELECT S-VIDEO	02H	03H	00H	00H	02H	01H	0BH	13H
PICTURE MUTE ON	02H	10H	00H	00H	00H	12H		
PICTURE MUTE OFF	02H	11H	00H	00H	00H	13H		
SOUND MUTE ON	02H	12H	00H	00H	00H	14H		
SOUND MUTE OFF	02H	13H	00H	00H	00H	15H		

トラブルチェックシート

本シートはトラブルに関するお問い合わせの際、迅速に故障箇所を判断させていただくためにご記入をお願いするものです。この使用説明書の「困ったときには」をご参照いただき、それでもトラブルが回避できない場合、本シートをご活用いただき、具体的な症状をキヤノンお客様相談センターの受付担当者へお伝えください。

※このページと次のページをコピーしてお使いください。

発生頻度 常時 時々 (回中 回) その他 ()

電源関係

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 電源が入らない (POWERランプが緑色に点灯しない)。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。<input type="checkbox"/> 主電源スイッチは「入」になっている。<input type="checkbox"/> ランプカバーは正しく取り付けられている。<input type="checkbox"/> ランプを交換した場合、ランプカウンターをリセットした。<input type="checkbox"/> (POWER) ボタンを2秒以上押しでも電源が入らない。 | <input type="checkbox"/> 使用中、電源が切れる。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。<input type="checkbox"/> ランプカバーは正しく取り付けられている。<input type="checkbox"/> パワーマネージメント機能がある機種においてパワーマネージメントは「切」に設定されている。<input type="checkbox"/> オフタイマー機能がある機種においてオフタイマーは「切」に設定されている。 |
|--|--|

映像・音声関係

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> コンピューターの画面が投写されない。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> コンピューターと本機を接続したあとにコンピューターを起動してもなおらない。<input type="checkbox"/> ノート型コンピューターにおいて外部出力信号が出力されている。
IBM PC/AT互換機の場合は、[Fn]キー+[F1]~[F12]キーのいずれかを押すと外部出力信号が出力されます(コンピューターによって異なります)。 | <input type="checkbox"/> 映像が歪む。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 台形に歪む (キーストーン調整を実行してもなおらない)。 |
| <input type="checkbox"/> 映像が出ない (青・ロゴ・表示なし)。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> (AUTO PC) ボタンを押してもなおらない。<input type="checkbox"/> [リセット] を実行してもなおらない。<input type="checkbox"/> 入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。<input type="checkbox"/> 画面に何かメッセージが出ている。
()<input type="checkbox"/> 接続している入力を選んでいる。<input type="checkbox"/> 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。<input type="checkbox"/> 入力是对応している解像度・周波数の信号である。 | <input type="checkbox"/> 映像が切れる。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> (AUTO PC) ボタンを押してもなおらない。<input type="checkbox"/> [リセット] を実行してもなおらない。<input type="checkbox"/> 水平または垂直方向に映像がずれる。<input type="checkbox"/> コンピューター映像入力の場合、水平位置・垂直位置は正しく調整されている。<input type="checkbox"/> 入力是对応している解像度・周波数の信号である。<input type="checkbox"/> 数ドット欠けている。 |
| <input type="checkbox"/> 映像が暗い。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。 | <input type="checkbox"/> 映像がチラつく。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> (AUTO PC) ボタンを押してもなおらない。<input type="checkbox"/> [リセット] を実行してもなおらない。<input type="checkbox"/> コンピューター映像入力でも文字がチラついたり、色がずれている。 |
| | <input type="checkbox"/> 映像がぼやける・フォーカスが合わない。 |
| | <input type="checkbox"/> 音が出ない。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 音声入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。<input type="checkbox"/> 音量を調整してもなおらない。 |

その他

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> リモコンが利かない。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はない。<input type="checkbox"/> 蛍光灯の近くに本体が設置されている。 | <input type="checkbox"/> 本体操作パネルのボタンが利かない。
[キーロック] 設定のある機種において <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> キーロック設定は「切」に設定されている。<input type="checkbox"/> 本体の (BACK) ボタンを10秒以上押しでもなおらない。 |
|---|---|

症状を具体的に記入してください。

使用状況・環境

プロジェクター

製品形名: **LV-7250**

機械番号:

購入時期:

ランプカウンター:

ランプモード: 標準 静音

入力信号情報:

水平周波数 [kHz]

垂直周波数 [Hz]

同期極性 H (+) (-)

V (+) (-)

同期形態 セパレート ミックス

Gシンク

WARNINGランプの状態

点灯 (オレンジ・緑)

点滅 (回周期)

設置環境

画面サイズ: 型

タイプ: ホワイトマット ビーズ 偏光

広視野角 ハイコントラスト

投写距離: m

投写方法: 天吊り 床置き

電源コンセントは?

壁からのコンセントを直接使用している。

電源用テーブルタップを使用している。
(他、接続機器の数: 台)

電源ドラム (ロール式) を使用している。
(他、接続機器の数: 台)

コンピューター

メーカー:

製品形名:

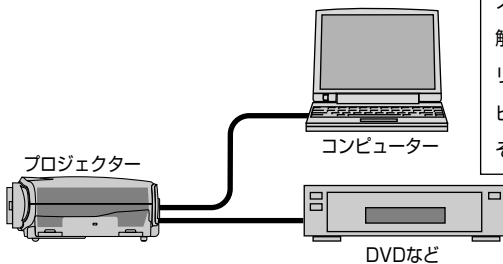
ノート型・デスクトップ型

解像度:

リフレッシュレート:

ビデオボード:

その他:



信号ケーブル

純正・その他 (製品形名: _____) 長さ: _____ m)

分配器 製品形名: _____

スイッチャー 製品形名: _____

アダプター 製品形名: _____

接続機器

ビデオ・DVD・カメラ・ゲーム・その他

メーカー:

製品形名: _____

仕様

製品形名		LV-7250	
方式		三原色液晶シャッター投映方式	
主要部品仕様	液晶パネル	サイズ	0.6型 MLA付き (アスペクト比 4 : 3)
		画素数*1	786,432画素 (1024×768ドット)
	投写レンズ	ズーム	マニュアル (1~1.6倍、f=17.7~28.3mm)
		フォーカス	マニュアル
光源	190W DCランプ (静音時150W)		
光学装置	ダイクロイックミラーによる光分離・クロスダイクロプリズムによる合成方式		
画面サイズ (投写距離)	25~300型 (1.1~8.8m)		
明るさ*2	2000 lm		
周辺照度比*2	85 %		
色再現性	フルカラー-1,677万色		
音声出力	1W モノラルスピーカ内蔵		
走査周波数	水平	15~100kHz (RGB入力は24kHz以上)	
	垂直	50~120Hz	
調整機能	マニュアルズーム、マニュアルフォーカス、入力信号切替 (コンピューター1/コンピューター2/ビデオ/S-ビデオ)、オートPC、画面拡大、オートキーストーン、画面位置調整、ミュート (映像/音声とも)、電源入/切、オンスクリーン表示/選択など		
最大表示解像度 (横×縦)	1600×1200 (圧縮表示対応)		
入力信号	R,G,B,H,V		
	RGB : 0.7Vp-p / 75Ω 正極性		
	Y : 1.0Vp-p / 75Ω 正極性		
	Cb,Cr (Pb, Pr) : 0.7Vp-p / 75Ω		
	H/V Sync : 4.0Vp-p / TTL 正極性 / 負極性		
	Composite Sync : 4.0Vp-p / TTL 正極性 / 負極性		
	Sync on G : 0.3Vp-p / 75Ω (With Sync) 負極性		
コンポジットビデオ	1.0Vp-p / 75Ω		
S-ビデオ	Y : 1.0Vp-p / 75Ω		
	C : 0.286Vp-p / 75Ω		
コンポーネント	1125i (1080i)、750p (720p)、525p (480p)、525i (480i) / 60Hz 1125i (1080i)、625p (576p)、625i (576i) / 50Hz		
音声	0.5Vrms/22kΩ以上		
入出力端子	コンピューター	映像入力	ミニD-Sub 15ピン×2
		映像出力	ミニD-Sub 15ピン×1
		音声入力	ステレオミニジャック×1
		音声出力	ステレオミニジャック×1
	ビデオ	映像入力	RCA×1
		音声入力	RCA(L/MONO.R)×1
	S-ビデオ	映像入力	ミニDIN 4ピン×1
		音声入力	(ビデオ音声入力と共通)
サービスポート	ミニDIN 8ピン×1		
水平解像度	NTSC : 540TV本		
騒音	35dB (標準時)、29dB (静音時)		
使用環境	動作温度 : 5~40℃*3 動作湿度 : 20~80% (ただし結露しないこと)		
	保存温度 : -10~50℃ 保存湿度 : 20~80% (ただし結露しないこと)		
電源	AC 100V 50/60Hz*4		
消費電力	ランプモード 標準時 : 260W		
	静音時 : 220W		
スタンバイ時消費電力	8W		
定格入力電流	3.1A		
外形寸法	310(幅)×109(高)×265(奥行)mm (突起部含まず)		
質量	3.0kg		

*1 : 有効画素数は99.99%です。

*2 : 出荷時における本プロジェクター全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911:2003 データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については付属書2に基づいています。

*3 : 35~40℃は「冷却運転」になります。

*4 : 高調波電流回路 JIS C 61000-3-2 適合品です。

●この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

索引

数字／アルファベット

Canonロゴ	15,65
LAMPランプ	16,84
POWERランプ	16,83
sRGB	56
WARNINGランプ	16,83

五十音

【ア行】

明るさ 赤/緑/青（詳細設定）	57
明るさ（イメージ調整）	58
アスペクト	59
圧縮表示	11
イメージ調整	56
イメージモード設定	56
色合い	58
色の濃さ	58
エアフィルター	14,70,77
オートPC (AUTO PC)	40,66
オートキーストーン	36,62
オフタイマー	65
オンスクリーンメニュー	50
オンスクリーンメニュー一覧	54
温度プロテクター	84
音量調整	40

【カ行】

解像度	87
拡大	44
画面サイズ	22,85,86
乾電池（単4）	12,20
ガンマ	57
キーストーン調整	36,38,62
キーストーン調整値保存	62
キーロック	50,64
キャリーバッグ	12
吸気口	14
クロック周波数	61
言語	63
後部調整脚	15,35
コントラスト 赤/緑/青（詳細設定）	57
コントラスト（イメージ調整）	58
コンピューター接続ケーブル	12,24

【サ行】

シネマポジション	60
シャープネス	58
主電源スイッチ	14,31,41
詳細設定	56
情報	68
信号選択	33
垂直位置	60
水平位置	60
ズームレバー	14,37
スクリーン色補正	62
スピーカー	14,40
静音	62,68
静止画	43
接続端子部	14,17
操作パネル	14,16

【タ行】

対応解像度一覧	87
ダイレクトパワーオン	66
調整脚	14,35
調整脚ロックボタン	14,35
通信速度	64
デインターレース	67
電源切り確認メッセージ	41
電源コード	12,29
電源コード接続部	14,29
電子音	67
投写角度	35
投写距離	22,85,86
盗難防止用ロック	14,15
トラッキング	61

【ナ行】

入力信号	33
入力信号選択	67
ノイズリダクション	61

【ハ行】

排気口	14
パスワード	47,65
パワーマネージメント	66
反転表示	63
表示時間	65

表示色	65
表示設定	59
ファンモード	66
フィルターカウンター	69
フォーカスリング	14,37

【マ行】

マウス操作	45
マウスレシーバー	13,45
無信号時画面	65

【ラ行】

ランプカウンター	68,69,76
ランプカバー	15,74
ランプモード	62
リセット	58,69
リモコン	12,18
リモコン受光部	14,20
リモコンの有効範囲	20
冷却運転	63
レンズ	14,71
レンズキャップ	14,31

MEMO

MEMO

保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています

保証書は、本プロジェクターに付属しています。お買い上げ日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、内容をお読みいただき、大切に保管してください。なお、保証内容については保証書に記載しております。

■修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、次ページのキャノンお客様相談センターにご相談ください。（ランプはキャノンホームページからもご購入いただけます。）

■修理を依頼される前に

79ページの「困ったときには」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

【修理方法】

本商品は、引取修理させていただきます。お客様先にプロジェクターを引取にお伺いし、修理完了後にお届けいたします。また、ご要望により代替機の貸出サービスを準備しております。

※上記、引取サービスおよび代替機の貸し出しは、キャノンお客様相談センターにてサービスをご利用いただいた場合に適用されます。

※引取修理サービスは、国内のみのお取り扱いとなります。

別売品

- ランプ 品番：LV-LP26
- 天吊り金具 品番：LV-CL11

■修理を依頼されるときに

ご連絡いただきたいこと

- お客様のお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の機番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造切り後7年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

〈修理料金〉

保証期間内	引取修理サービス	無償
	代替機貸出サービス	無償
保証期間終了後	引取修理サービス	有償
	代替機貸出サービス	有償

●長年ご使用の液晶プロジェクターの点検をぜひ！（熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような
症状は
ありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 映像が時々消えることがある。
- 変なにおいが出たり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。
- その他異常や故障がある。

ご使用
中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

お客さまメモ

品番

お買い上げ年月日 年 月 日

お買い上げ店名

Canon

お客様相談センター（全国共通番号）



050-555-90071

[受付時間] (平日)9:00～12:00／13:00～17:00

（土日祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9348をご利用ください。

※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。

※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。